

# KAWAI

## DIGITAL PIANO

# CN41

## 取扱説明書

### ■同梱品

- 本体
- スタンド
- 譜面台
- 椅子
- 電源コード
- 取扱説明書(本書)
- ヘッドホン
- ヘッドホンフック
- スタンド組立図
- 保証書
- ご愛用者カード
- アフターサービスと音楽教室のご案内
- 楽譜集のご案内
- 「コンサートマジック曲集」注文払込用紙

このたびは、KAWAIデジタルピアノCN41をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。

本機では、ピアノ音色をはじめ全309種類の音色で演奏を楽しむことができます。

また、ピアノ演奏上達のためのレッスン機能を搭載し、お子様でも楽しく練習することができます。

その他、自分の演奏を録音する機能、音に残響効果を与えるリバーブやその他のエフェクト、伝統的なくつかの調律セッティングやコンサートマジックなど、多彩な機能を装備しています。

さらに、電子楽器統一規格であるMIDI機能も装備していますので、他のMIDIを装備した電子楽器と接続してアンサンブル等、バラエティーに富んだ演奏にも対応できるだけでなく、USBデバイスの接続用端子も装備していますので外部へのデータの保存や読み出しも簡単にできます。

CN41の性能をフルに発揮していただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

各部の名称と働き 1

演奏してみよう 2

レッスン機能の使い方 3

レコーダーの使い方 4

USBレコーダーの使い方 5

USBメモリーの操作 6

設定モードの使い方 7

付録 8



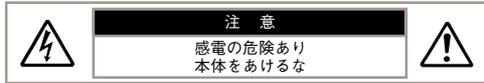
■CN41をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

## 目 次

◆ 安全上のご注意 .....	4	5. USBレコーダーの使い方 .....	40
1. 各部の名称と働き .....	6	1) 再生 .....	40
◇ パネル図 .....	6	◇ テンポの変更 .....	41
◇ ペダルを使って演奏 .....	6	◇ 再生パートのミュート .....	41
◇ ヘッドホン .....	7	2) 繰り返し再生 .....	42
2. 演奏してみましょう .....	8	◇ 1曲を繰り返したい場合 .....	42
1) 基本操作 .....	8	◇ 曲の一部を繰り返したい場合 .....	43
◇ 音色の選び方 .....	9	3) 録音 .....	44
2) デュアル演奏 .....	10	6. USBメニューの操作 .....	47
3) スプリット演奏 .....	11	◇ メニューの選び方 .....	47
4) リバース/エフェクト .....	13	1) 内部レコーダーの保存 .....	48
◇ 音にREVERB(リバース)効果を加える .....	13	2) 曲名変更 .....	50
◇ 音にEFFECTS(エフェクト)を加える .....	14	3) 曲データの削除 .....	51
5) タッチカーブ .....	15	4) 曲データのコピー .....	52
6) トランスポーズ .....	16	5) ディレクトリの作成 .....	53
7) メトロノーム/リズム .....	17	6) フォーマット .....	54
◇ メトロノーム/リズムの発音とテンポ設定 .....	17	7. 設定モードの使い方 .....	55
◇ メトロノームの拍子/リズム設定 .....	17	1) ブリリアンス .....	55
◇ メトロノーム/リズムの音量設定 .....	18	2) ロア-オクターブシフト .....	56
8) デモ曲の演奏 .....	19	3) ロア-ペダルのオン/オフ .....	56
9) コンサートマジック .....	20	4) レイヤーオクターブシフト .....	57
◇ コンサートマジック曲選択と演奏 .....	21	5) レイヤー ダイナミクス .....	58
◇ コンサートマジック曲の再生 .....	22	6) ダンパーホールドのオン/オフ .....	59
◇ その他の再生方法(チェイン再生/グループ再生/ ランダム再生) .....	23	7) チューニング .....	60
◇ コンサートマジック曲目 .....	24	8) 音律の設定 .....	61
3. レッスン機能の使い方 .....	26	9) 音律の主音の設定 .....	62
◇ 練習したい曲を選ぶ .....	26	◇ MIDIについて .....	63
◇ 見本曲を聴く .....	27	10) MIDI送信・受信チャンネル .....	64
◇ 見本曲の途中から再生する .....	28	11) ローカル コントロール .....	65
◇ レッスン機能を終了する .....	29	12) プログラム(音色)ナンバー送信のオン/オフ .....	66
◇ 見本曲の片方のパートを再生しながら、もう片方の パートを練習する .....	29	◇ 音色ボタンによるプログラムナンバーの送信/ パネル操作の送信 .....	66
◇ 見本曲の途中を繰り返して練習する .....	30	13) プログラム(音色)ナンバー送信 .....	67
◇ 見本曲に合わせて録音する .....	31	14) マルチ ティンバーモード .....	68
4. レコーダーの使い方 .....	33	15) チャンネルミュート .....	69
1) 録音 .....	33	16) MIDIクロック .....	70
◇ 録音するソングとパートの選択 .....	33	17) ユーザー メモリー .....	70
2) 再生 .....	35	18) ファクトリー リセット .....	71
3) 繰り返し再生 .....	36	19) 表示言語 .....	72
◇ 1曲を繰り返したい場合 .....	36	8. 付 録 .....	73
◇ 曲の一部を繰り返したい場合 .....	37	◇ 他の機器との接続 .....	73
4) パートのデータの消去 .....	38	◇ 本体の組み立て方 .....	75
		◇ 音色一覧表 .....	77
		◇ リズム一覧表 .....	81
		◇ 主な仕様 .....	82
		◇ KAWAI [Model CN41] MIDI インプリメンテーションチャート .....	83

# ◆安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。

⚠ このマークは、感電の危険があることを警告しています。

⚠ このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

## 絵表示の例

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

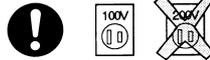
○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

## ⚠ 警告

### ◆電源は、必ずAC100Vを使う

100V以外禁止



- 電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
- 発火の恐れがあります。

### ◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない



- 感電の原因になります。

### ◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける,かける,こぼす）などしない



- 漏電によって、感電や発火の原因になります。

### ◆本機を落とさない

落とさない



- 運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。

### ◆イスは次のように使用しない

- イスで遊んだり、踏み台にしない
- イスには2人以上で座らない
- イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
- イス組立時、ネジをしっかりと締める

使用しない



- イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。
- 不安定な場所に置かないでください。
- 長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

### ◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

長時間使用禁止



- 聴力低下の原因になる恐れがあります。

### ◆本機を分解、修理、改造しない

分解禁止



- 故障、感電、ショートの原因になります。

### ◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を 持って抜く

プラグ部分を持つ



- コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

### ◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く



- 落雷時に火災の原因になります。

## ⚠ 注意

### ◆本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

使用禁止



- 故障の原因になります。

### ◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

ゆっくりしめる



- いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

### ◆電源コードは必ず付属のものを使う



- 付属の電源コードは本機専用ですので、他の機器で使用しないでください。

### ◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切っている

電源を切る



- 本機や接続機器の故障の原因になります。

### ◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない



- 水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

### ◆本機の鍵盤にもたれない

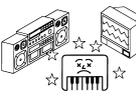
もたれない



- 本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

### ◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す



- 本機が雑音を発する恐れがあります。
- 本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

### ◆電源コード、接続コード類は本体で踏んだりからまないように接続する

からまないようにする



- コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

### ◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン/シンナー禁止



- 色落ちや、変形の原因になります。
- 清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

### ◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない



- 変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

### ◆本機を移動するときは引きずらない

引きずらない



- 移動の際は、必ず持ち上げて運んで下さい。引きずって移動すると、本体を破損する恐れがあります。

- ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

- パネル上のディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてあります。

### ■保証書について

- 本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
- 保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

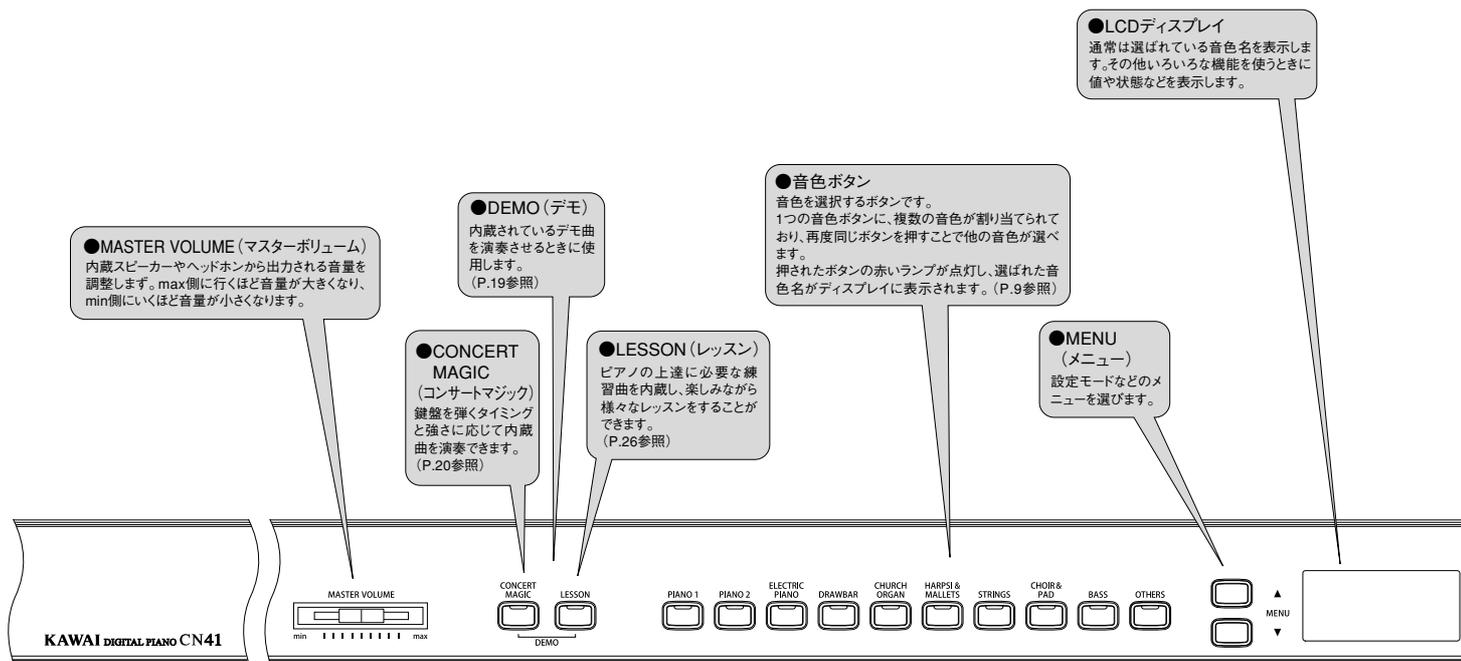
### ■修理について

- 万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、お買い求めいただいた販売店、またはお近くのフィールドサポート（同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」をご参照ください）までご連絡ください。

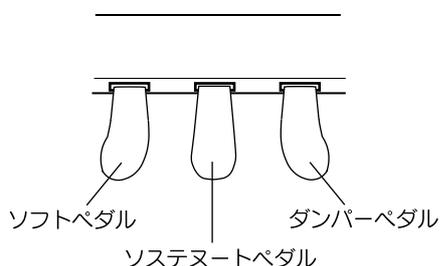
# 1. 各部の名称と働き

スライダーやボタンなどの位置とその機能を説明します。

## ◇ パネル図



## ◇ ペダルを使って演奏



### ◆ ダンパーペダル

音に余韻を与えます。

ピアノは、鍵盤を押すとハンマーが弦をたたき、音が発音しますが、指を離すとダンパーが弦を止めて発音が止まります。

ダンパーペダルを踏むと指を離してもダンパーが弦を止めないため、音が止まらず豊かな響きが得られます。

### ◆ ソステヌートペダル

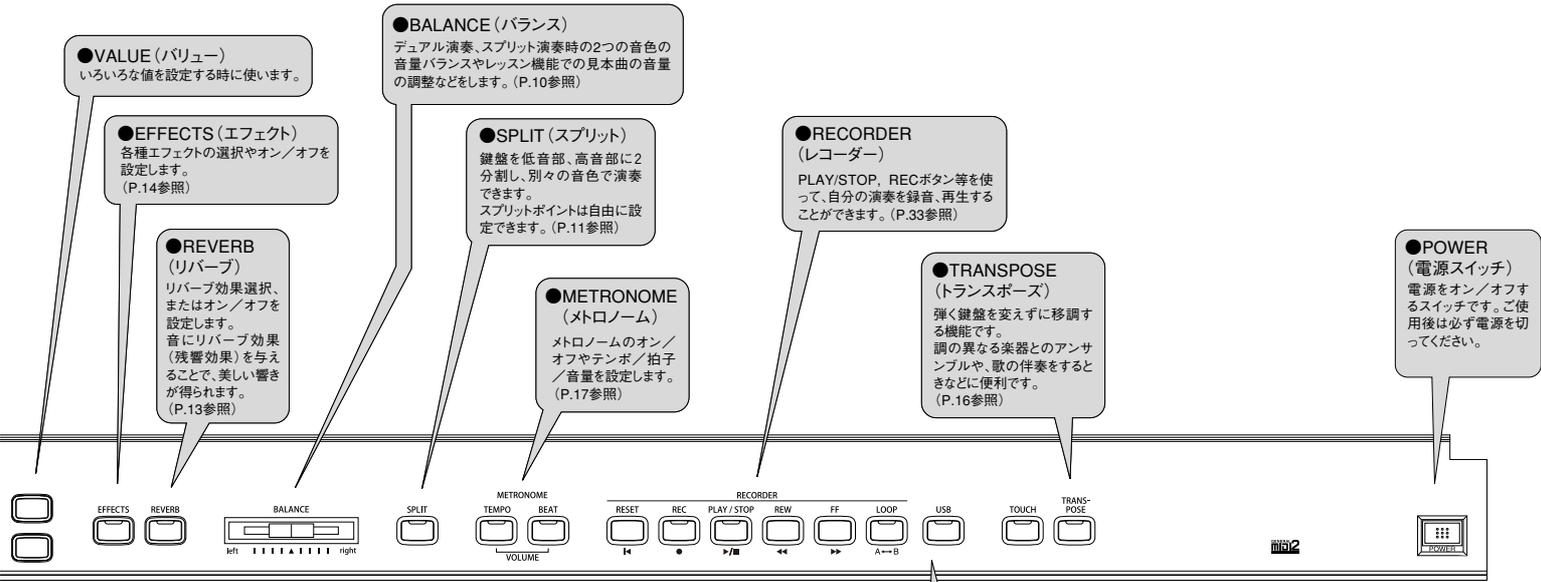
鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。

従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

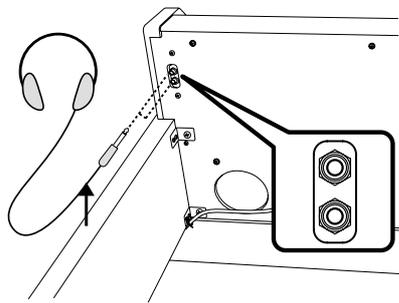
### ◆ ソフトペダル

音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

EFFECTS ボタン を押してロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード (Slow/Fast) を切り替えます。

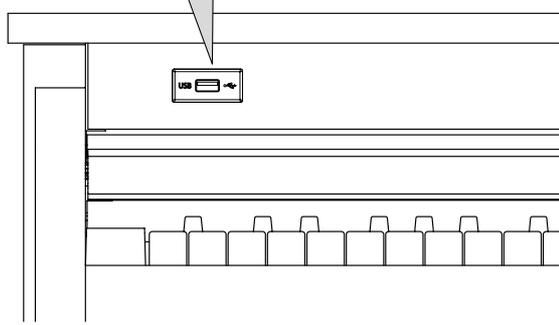


◆ ヘッドホン



◆ヘッドホン端子 (2個)  
ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは2つまで接続できます。

●USB to Device (ユーエスピートゥデバイス)  
USBメモリやUSBフロッピードライブを接続して、スタンダードメディアファイル(SMF)の再生、録音ができます。(P.40参照)



# 2. 演奏してみましよう

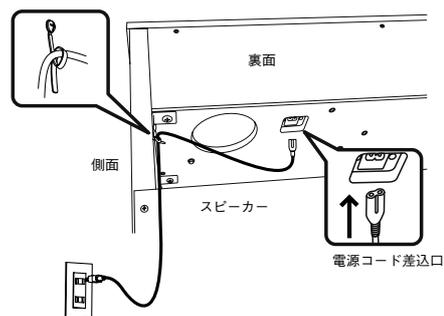
## 1) 基本操作

ここでは、電源を入れて音を出すまでの基本的な手順を説明します。

### □操作 1

付属の電源コードのプラグを AC100V のコンセントに差し込みます。

電源コードはあらかじめ本体の電源コード差込口に接続しておいて下さい。



### □操作 2

POWER (電源スイッチ) ボタンを押して電源をオンにします。



POWER ボタンを押すと音色ボタンの PIANO 1 が点灯し、LCD ディスプレイに「コンサート グランド」と表示されます。

コンサート グランド

REVERB ボタンも点灯します。

### □操作 3

MASTER VOLUME スライダーを中央付近にセットします。



## ◇ 音色の選び方

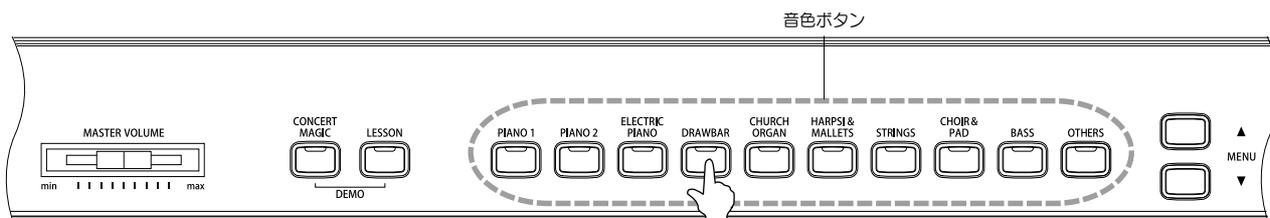
パネルには、10個の音色ボタンがあります。

各音色ボタンに4音色（OTHERSボタンは273音色+9ドラムセット）が割り当てられており、合計309音色+9ドラムセットを内蔵しています。

各音色ボタンに割り当てられている音色は付録の音色一覧表を参照してください。

## □ 操作 1

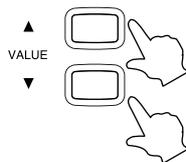
音色を選びましょう。



押された音色ボタンのランプが点灯し、選択されます。

1つの音色ボタンに複数の音色が割り当てられており、選択されているボタンを再度押すと同じ音色ボタンに割り当てられている他の音色が選択されます。

■ VALUE ボタンで音色を切り替えることもできます。



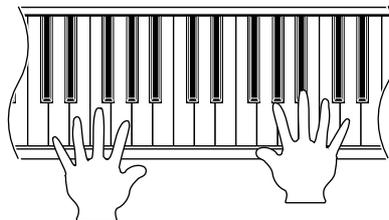
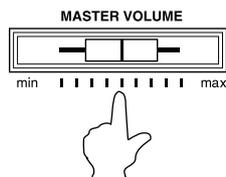
■ OTHERS ボタンを選択している時は VALUE ボタンの▼を押しながら▲を押すことによって、あるいは▲を押しながら▼を押すことによって、次の音色グループに切り替えることもできます。

## □ 操作 2

鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ音色が鳴ります。

MASTER VOLUME スライダーでお好みの音量に設定できます。



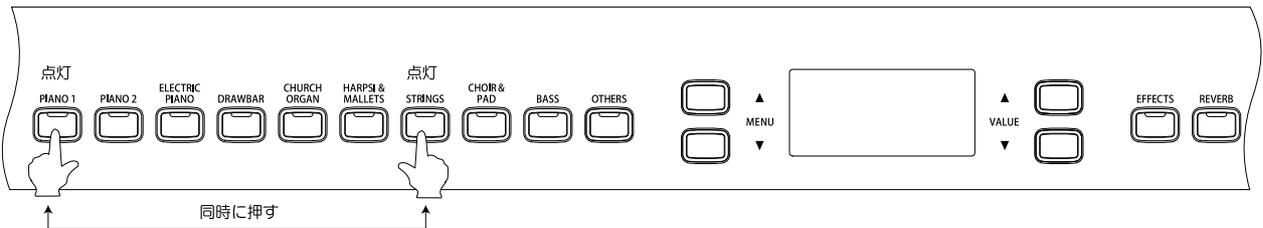
■複数の鍵盤を同時に押した時の発音数（同時発音数）は、最大96音です。（音色によって異なります）

## 2) デュアル演奏

デュアルとは2つの音色を重ね合わせる機能です。  
2つの音色が同時に発音され音楽表現の幅が広がります。

### □操作 1

2つの音色ボタンを同時に押します。



重ね合わせる2つの音色ボタンを同時に押すと2つの音色ランプが点灯しディスプレイに2つの音色名が表示されます。(先に押した音色がディスプレイの1行目に表示されます。)

例えば、PIANO1 と STRINGS の音を重ね合わせる場合、図の様に PIANO1 ボタンと STRINGS ボタンを同時に押します。

コンサート グランド<sup>☆</sup>  
スロー スtrings<sup>☆</sup>

上のデュアル演奏の状態から、スローStringをStringハット<sup>☆</sup>に変更する場合は、PIANO1 ボタンを押しながら STRINGS ボタンを再度押します。

同じボタンの中の2音色を重ね合わせて発音させることもできます。

例えば、PIANO1 ボタンに割り当てられている「コンサート グランド<sup>☆</sup>」と「スタジオ グランド<sup>☆</sup>」の音色を重ね合わせる場合は、PIANO1 ボタンで「コンサート グランド<sup>☆</sup>」を選択した後、そのまま PIANO1 ボタンを押しながら VALUE ボタンで「スタジオ グランド<sup>☆</sup>」を選びます。

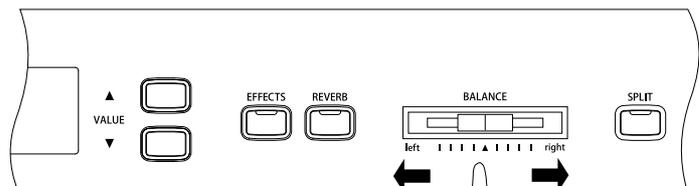
### □操作 2

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば選択した2つの音色が重なって鳴ります。

### □操作 3

バランス  
BALANCE スライダーを動かして、  
2つの音色の音量バランスを設定します。



### □操作 4

デュアル演奏の解除は、音色ボタンのいずれかを1つ押します。

押した音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

ディスプレイの  
2行目の音色 ← 手  
→ 手  
ディスプレイの  
1行目の音色

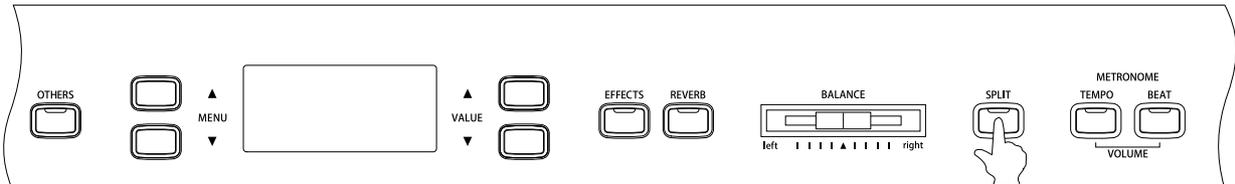
### 3) スプリット演奏

スプリットポイントを境に鍵盤を左右2つに分け、鍵盤の高音側、低音側それぞれに別々の音色を設定しアンサンブル演奏をすることができます。

#### □操作 1

スプリット

SPLIT ボタンを押します。



SPLIT ボタンのランプが点灯します。

音色ボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。

点灯している音色ボタンは、SPLIT ボタンを押す前に選ばれている音色で、高音側の音色です。

点滅している音色ボタンは、低音側の音色で初期設定されているベース音色です。

ディスプレイには選ばれている2音色が表示されます。

コンサート グランド  
/ ウッドベース

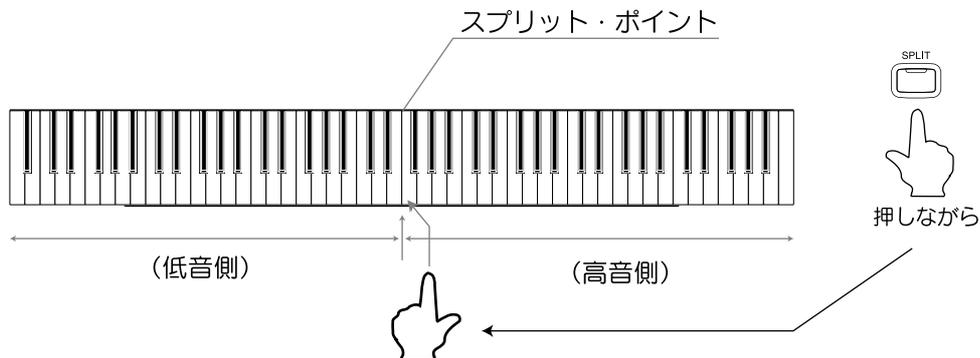
ディスプレイ左下には、スプリット状態であることを示す（/）マークが表示されます。

スプリットポイントは、中央のC（ド）に設定されています。

#### □操作 2

スプリットポイントを変更したい場合は、スプリット ボタンを押しながら鍵盤を押します。

押した鍵盤が、高音側の最低音になります。



#### □操作 3

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば、スプリットポイントを境に別々の音色で鳴ります。

右手でコードとメロディー、左手でベースラインを弾いて

アンサンブル演奏を楽しむことができます。

## □操作 4

高音側の音色は、音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンのランプが点灯します。

同じ音色ボタンをつづけて2回以上押すと、その音色グループ内での音色変更ができます。

## □操作 5

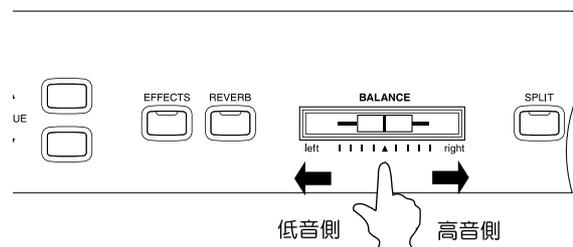
低音側の音色は、<sup>スプリット</sup>SPLIT ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンのランプが点滅します。

同じ音色ボタンをつづけて2回以上押すと、その音色グループ内での音色変更ができます。

## □操作 6

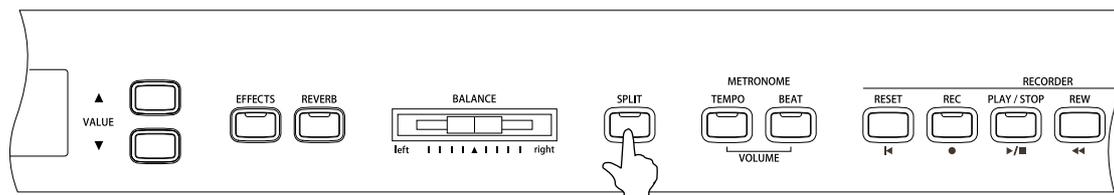
<sup>バランス</sup>BALANCE スライダーを動かして、  
高音側と低音側の音量バランスを設定します。



## □操作 7

スプリット演奏を解除する時は、再度<sup>スプリット</sup>SPLIT ボタンを押します。

SPLIT ボタンのランプが消灯します。



■低音側鍵盤の音に、オクターブシフトを設定することができます。(P.56 参照)

■低音側鍵盤の音に、ダンパーペダルのオン/オフの設定ができます。(P.56 参照)

## 4) リバーブ/エフェクト

6種類のリバーブと12種類のエフェクトを装備しています。

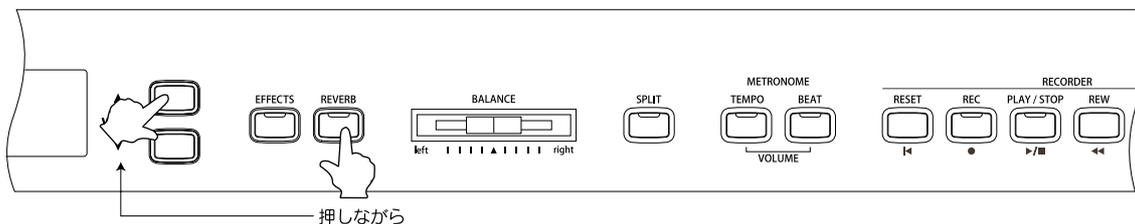
### ◇ 音に REVERB (リバーブ) を加える

リバーブを加えると、音に残響効果加わり深みのある美しい響きが得られます。  
以下の6種類のリバーブを用意しています。

- ルーム 1、2 : 室内で演奏している時にかかる残響効果が得られます。  
ルーム 2の方が長い残響時間が得られます。
- ステージ : ステージで演奏している時にかかる残響効果が得られます。
- ホール 1、2 : ホールで演奏している時にかかる残響効果が得られます。  
ホール 2の方が長い残響時間が得られます。
- プレート : プレートリバーブの残響効果が得られます。

### □ 操作 1

リバーブ ボタンを押しながら VALUE ボタンを押すたびにリバーブの種類がディスプレイに表示されます。  
選択するリバーブの種類をディスプレイに表示させ、REVERB ボタンから手を離します。



リバーブ  
= ルーム 1



リバーブ  
= ルーム 2



リバーブ  
= ステージ



リバーブ  
= ホール 1



リバーブ  
= ホール 2



リバーブ  
= プレート

REVERB ボタンを押している間、ディスプレイに今選ばれているリバーブの種類が表示されます。

REVERB ボタンを押して消灯させると、音色のリバーブ効果は解除されます。

再度 REVERB ボタンを押して点灯させると、前回選択していた種類のリバーブ効果が加えられます。

REVERB ボタンを離すとディスプレイの画面は音色表示になります。

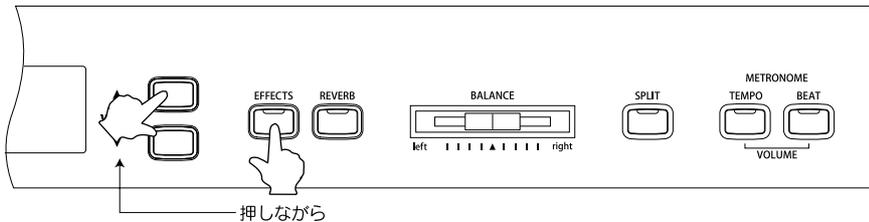
◇ 音に EFFECTS (エフェクト) を加える

CN41 は次のエフェクトを装備しています。

- コーラス : 音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせるにより、音に広がりを加えます。  
CN41 では5種類のコーラス効果を用意しています。
- フランジャー : 音にピッチが微妙にずれた音を加えて、ジェット機の上昇下降音のような効果です。
- ディレイ : 音に山びこのような反響音を加える効果です。  
CN41 では3種類のディレイ効果を用意しています。
- トレモロ : 音に”ゆらぎ”を加える効果です。
- ロータリー1 : ロータリー (回転式) スピーカーを使って得られる効果です。  
ソフトペダル (P.6 参照) を押すことによって回転の速さを切り換えることができます。
- ロータリー2 : 上記のロータリー効果に歪み効果を加えます。

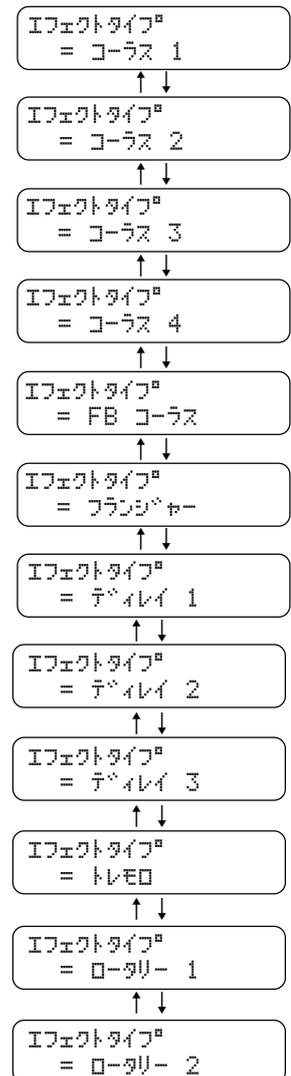
□操作 1

EFFECTS ボタンを押しながら VALUE ボタンを押すたびにエフェクトの種類が画面に表示されます。選択するエフェクトの種類を画面に表示させ EFFECTS ボタンから手を離します。



EFFECTS ボタンを押している間、ディスプレイに今選ばれている効果の種類が表示されます。

EFFECTS ボタンを押して消灯させると、音色の効果は解除されます。再度 EFFECTS ボタンを押して点灯させると、前回選択していた種類の効果が加えられます。



演奏してみよう  
2

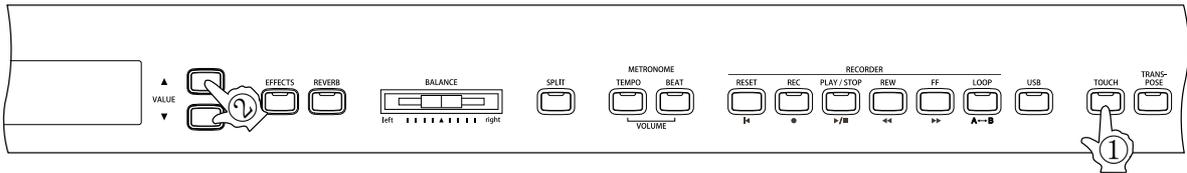
## 5) タッチカーブ

ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。CN41 では、6種類のタッチカーブを装備しています。

①ライト+	: 弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
②ライト	: 小さなお子様や、オルガンプレイヤー向けのタッチカーブです。
③ノーマル	: アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
④ヘビー	: 強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
⑤ヘビー+	: 指の力の強い人や練習向けのタッチカーブです。
⑥オフ	: タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。

大きい  
↑  
音量  
↓  
小さい

弱い ← 鍵盤を → 強い  
弾く強さ



### □操作 1

タッチ

バリュウ

TOUCH ボタンを押しながら VALUE ボタンを押してタッチカーブの種類を選びます。

タッチカーブ  
= ライト

TOUCH ボタンのランプが点灯し、ボタンを押している間ディスプレイに現在選ばれているタッチカーブの種類が表示されます。ここで選択したタッチカーブは、TOUCH ボタンのランプが点灯時に有効になります。

TOUCH ボタンのランプが消灯時は、ノーマルに設定されます。

## 6) トランスポーズ

半音単位で調を変えることができます。

調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

### □操作 1

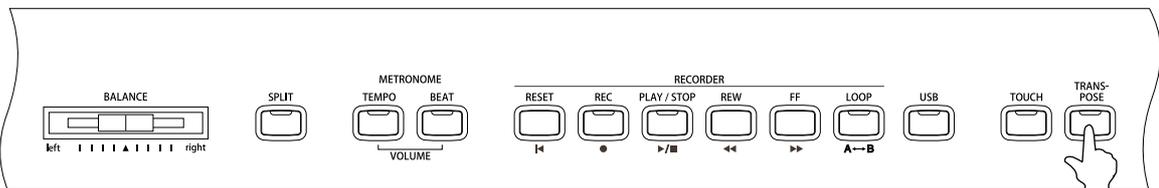
トランスポーズ

TRANSPOSE ボタンを押しながら鍵盤を押して移調値を (-12 ~ +12 [全2オクターブ]) の間で設定します。

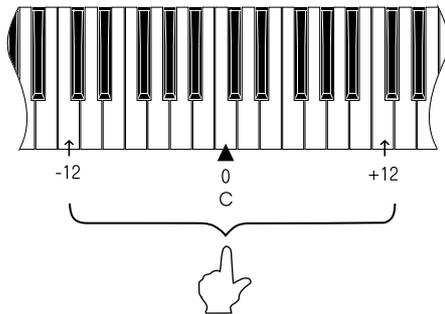
TRANSPOSE ボタンのランプが点灯時、設定した値だけ移調されます。またボタンを押している間、ディスプレイに現在の値が表示されます。

電源オン時は、ハ長調 (C) に設定されています。

トランスポーズ  
= 0 C



押しながら



鍵盤中央のド (C) が 0 です。

ディスプレイの2行目に値が表示されます。

### □操作 2

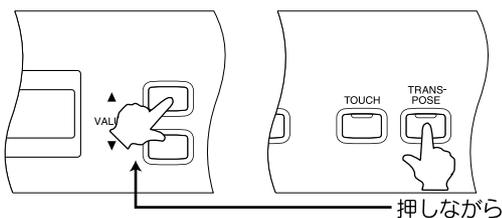
トランスポーズ

TRANSPOSE ボタンを押すたびに、オン/オフを設定できます。

ランプが点灯時にオンとなり設定した値だけ移調されます。

値が「0」の場合は、点灯しません。

■ TRANSPOSE ボタンを押しながら VALUE ボタンを押しても移調できます。



押しながら

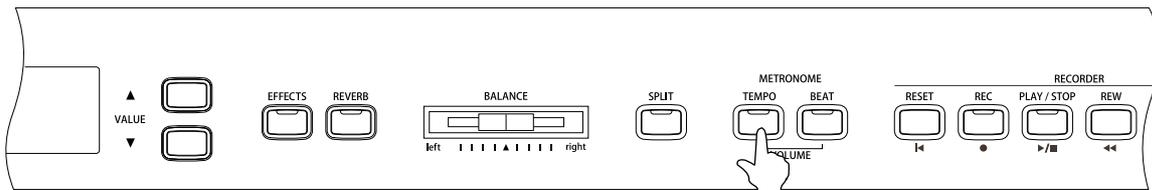
## 7) メトロノーム／リズム

メトロノームを使ってテンポを正しく練習しましょう。

### ◇ メトロノーム／リズムの発音とテンポ設定

#### □ 操作 1

テンポ  
TEMPO ボタンを押します。

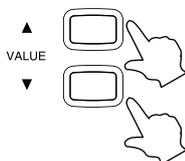


TEMPO ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。  
ディスプレイにそのテンポの値が表示されます。

テンポ ♩ = 120  
■000

#### □ 操作 2

バリュ  
VALUE ボタンを押してテンポを設定できます。



テンポの値を ♩ = 10 ~ 400 の範囲で設定できます。  
(3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子のときは、♩ = 20 ~ 800)

#### □ 操作 3

テンポ  
再度 TEMPO ボタンを押すとメトロノームが止まります。

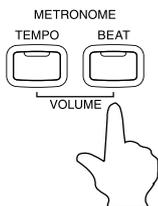
TEMPO ボタンのランプが消灯します。

■コンサートマジックボタンが点灯中は、メトロノームは使用できません。

### ◇ メトロノームの拍子／リズムの設定

#### □ 操作 1

ビート  
BEAT ボタンを押します。



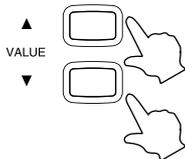
BEAT ボタンが点灯し、ディスプレイにその拍子が表示され、メトロノームが発音します。また、リズムが選ばれている時はディスプレイにリズムが表示され、リズムが発音します。

ビート = 4/4  
■000

8ビート 1  
■000

## □操作 2

VALUE ボタンを押して拍子/リズムを選択します。



メトロノームは1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8 より選択することができます。

リズムは100種類より選択できます。

内蔵しているリズムは付録を参照して下さい。

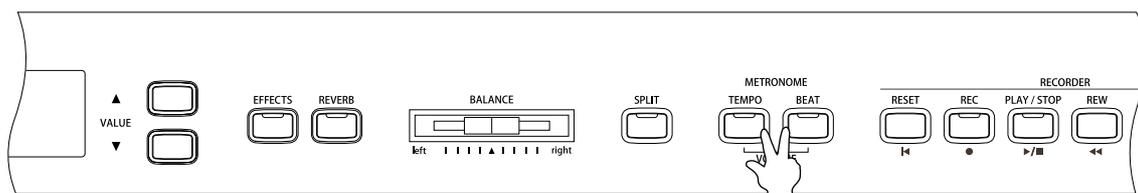
## □操作 3

再度 BEAT ボタンを押すと BEAT ボタンのランプは消灯し、メトロノーム又はリズムが止まります。

## ◇メトロノーム/リズムの音量設定

## □操作 1

TEMPO ボタンと BEAT ボタンを同時に押します。

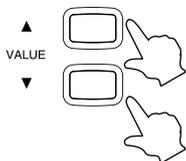


TEMPO ボタンと BEAT ボタンが点灯し、メトロノーム又はリズムが発音します。  
ディスプレイにその音量の値が表示されます。

ボリューム = 5  
●○○

## □操作 2

VALUE ボタンを押して音量を設定します。



1 ~ 10 の範囲で設定できます。

## □操作 3

再度 TEMPO ボタンと BEAT ボタンを同時に押すとランプが消灯し、メトロノーム又はリズムが止まります。

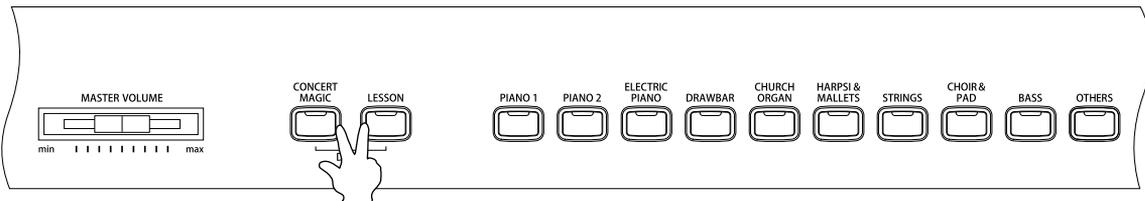
## 8) デモ曲の演奏

各音色ボタン毎に下表のデモ曲を内蔵しています。  
それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。

<b>■PIANO 1</b> コンサートグランド : ロマンティックなワルツ / ドビュッシー スタジオグランド : カワイオリジナル メローグランド : 亜麻色の髪の乙女 / ドビュッシー		<b>■STRINGS</b> スロースtringス : カワイオリジナル Stringパッド : カワイオリジナル Stringアンサンブル : 四季“春” / ヴィヴァルディ	
<b>■PIANO 2</b> モダンピアノ : カワイオリジナル ロックピアノ : カワイオリジナル ニューエイジピアノ1 : カワイオリジナル		<b>■CHOIR &amp; PAD</b> クワイア : カワイオリジナル クワイア2 : カワイオリジナル ニューエイジ1 : カワイオリジナル アトモスフィア : カワイオリジナル	
<b>■ELECTRIC PIANO</b> クラシックE.ピアノ : カワイオリジナル モダンE.ピアノ1 : カワイオリジナル モダンE.ピアノ2 : カワイオリジナル		<b>■BASS &amp; GUITAR</b> ウッドベース : カワイオリジナル フレットレスベース : カワイオリジナル ウッドベース&ライド : カワイオリジナル	
<b>■DRAWBAR</b> ジャズオルガン1 : カワイオリジナル ジャズオルガン2 : カワイオリジナル ジャズオルガン3 : カワイオリジナル		<b>■OTHER</b> ラプソディー第2番(アレンジ) : ブラームス ピアノ協奏曲イ短調作品16 : グリーク	
<b>■CHURCH ORGAN</b> チャーチオルガン1 : トッカータ / ジグー ディアパソン : 主よ人の望みの喜びよ / バッハ フルアンサンブル : カワイオリジナル			
<b>■HARPSI &amp; MALLETS</b> ハープシコード : フランス組曲第6番 / バッハ ビブラホン : カワイオリジナル クラビネット : カワイオリジナル			

※一部の曲は原曲の構成とは異なります。

- 操作 1  
コンサートマジック  
 CONCERT MAGIC ボタンと レッスン  
 LESSON ボタンを押します。



CONCERT MAGIC ボタンと LESSON ボタンのランプが点灯し、音色ボタンが点滅します。そのまま何も操作しなければ、ピアノ 1 のデモ曲が演奏されます。

ピアノ 1 のデモ曲の演奏後、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。  
ディスプレイには、音色名が表示されます。

コンサート グランド

- 操作 2  
 操作 1 でデモ曲演奏中に、音色ボタンを押して曲を変更することができます。

押された音色ボタンのデモ曲を再生した後、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。

1つの音色ボタンに複数のデモ曲が内蔵されている場合、そのボタンを繰り返し押すことにより、次の曲を選ぶことができます。

- 操作 3  
コンサートマジック  
 再度 CONCERT MAGIC ボタン又は レッスン  
 LESSON ボタンを押せば、デモ曲の演奏は停止します。

■レコーダーの PLAY/STOP ボタンを押しても停止します。

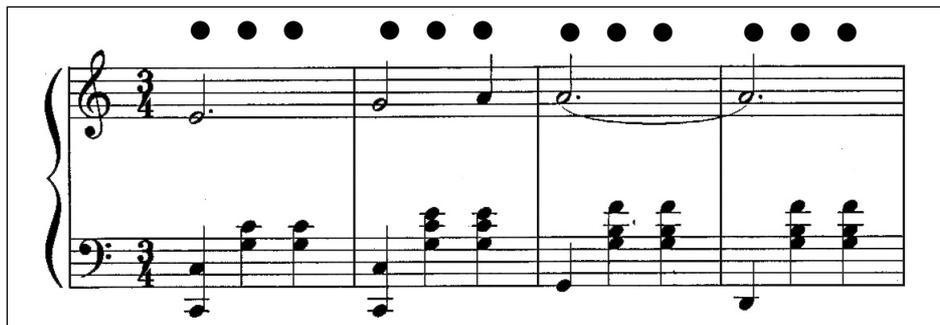
## 9) コンサートマジック

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。  
CN41にはコンサートマジック曲を88曲内蔵しており、次の3つのモードで演奏を楽しむことができます。

### ■マジカルタクト モード

一定の間隔で鍵盤を弾くことで演奏を進めることができます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。  
鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

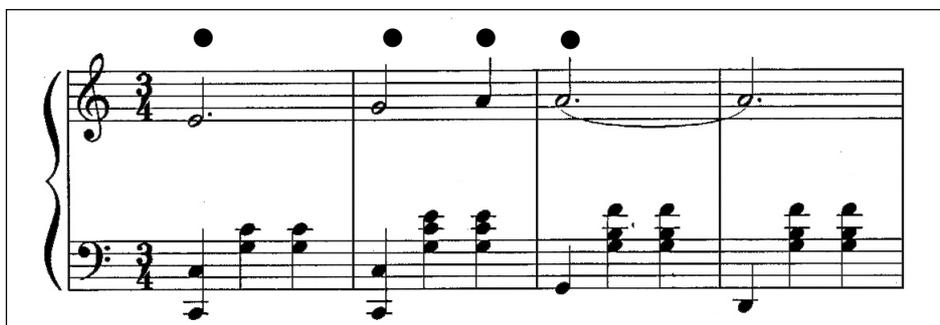
鍵盤を弾くタイミング (曲: スケートーズ・ワルツ)



### ■マジカルメロディー モード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。

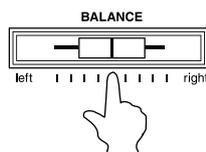
鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。



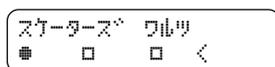
### ■マジカルメロディー&キー モード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾いた鍵盤の音が出ますので正しい音を弾きましょう。

BALANCE スライダーを左に動かして自動演奏のメロディパートを消すことができます。



※ LCD ディスプレイの表示例



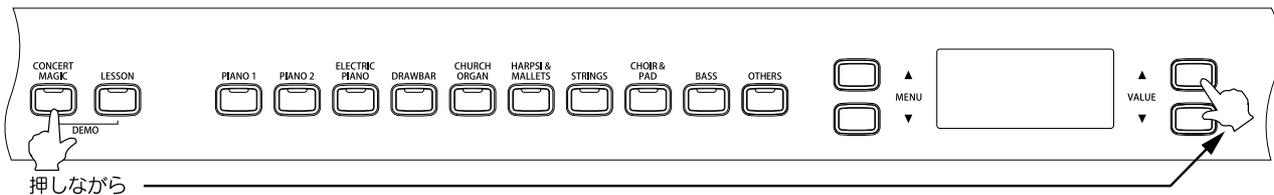
●は鍵盤を弾くタイミング

□は自動伴奏のタイミングです。

マジカルタクトモード中は、□は表示されません。

## □ モードの入り方

CONCERT MAGIC ボタンを押しながら VALUE ボタンを押すたびにモード名が画面に表示されます。選択するモード名を画面に表示させ CONCERT MAGIC ボタンから手を離します。

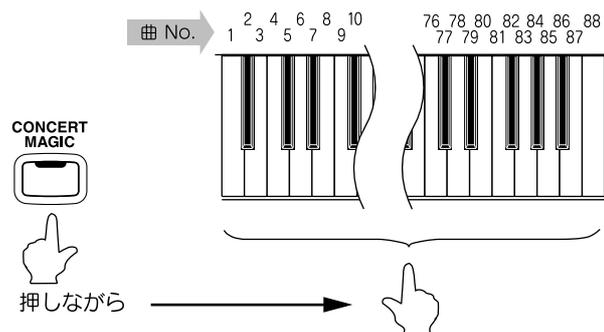


## ◇ コンサートマジック曲選択と演奏

ここでは、内蔵のコンサートマジック曲を選択します。

## □ 操作 1

CONCERT MAGIC ボタンを押しながら鍵盤を押します。



88曲のコンサートマジック曲は、各鍵盤に1曲ずつ割り当てられており、この鍵盤で曲を選択します。  
(曲目は、24, 25ページを参照してください。)

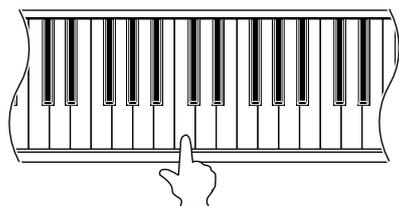
例えば、No.57の鍵盤で「スターズ ワルツ」を選択した場合ディスプレイには右のように表示されます。

No.57  
スターズ ワルツ

- 現在入っているモードを確認する場合、コンサートマジックボタンを押し続けると画面にモード名が表示されます。
- VALUE ボタンを押して曲目を変更することもできます。

## □ 操作 2

ひとつの鍵盤を弾きます。

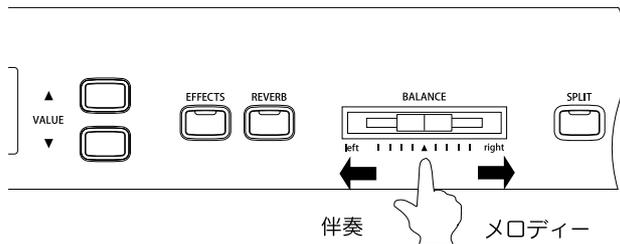


鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。  
鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。  
演奏を進めていくに伴って、ディスプレイの黒丸(●)がプラス(+)  
表示へと変わっていきますので、鍵盤を押すタイミングをつかんでください。



通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の2パートからでき  
ており、BALANCE スライダーで  
2パートの音量バランスを調整す  
ることができます。



□ 操作 3

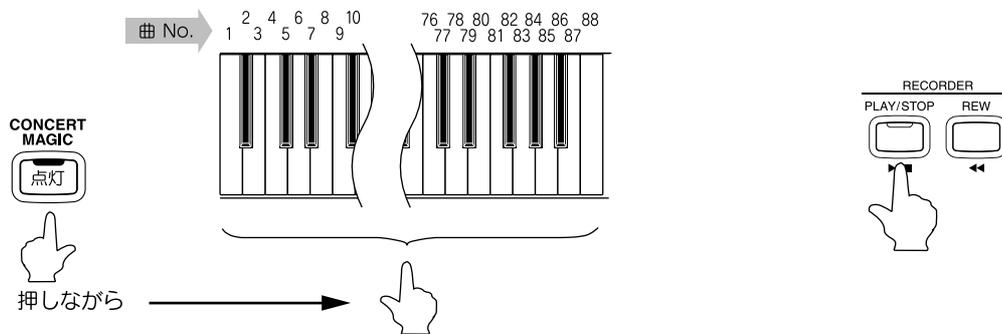
再度 コンサート マジック CONCERT MAGIC ボタンを押してランプを消灯させれば、通常の演奏状態に戻ります。

◇ コンサートマジック曲の再生

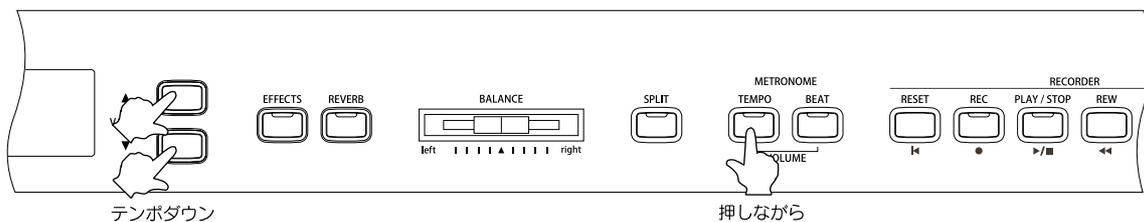
コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。  
どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

□ 操作 1

コンサート マジック CONCERT MAGIC ボタンを押しながら鍵盤を押して選曲した後、プレイ/ストップ PLAY/STOP ボタンを押します。



選択されている曲を、もう一度 PLAY/STOP ボタンを押すまで、繰り返し再生し続けます。  
TEMPO ボタン押しながら VALUE ボタンを押して曲のテンポを変更できます。



## □操作 2

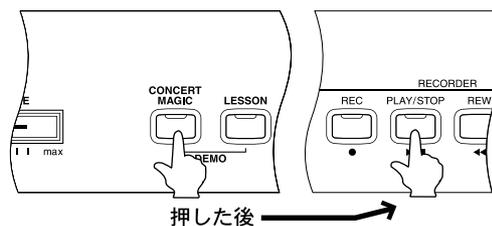
もう一度 <sup>プレイ/ストップ</sup>PLAY/STOP ボタンを押せば、演奏は止まります。

## ◇ その他の再生方法 (チェーン再生/グループ再生/ランダム再生)

### ■チェーン再生

<sup>コンサート</sup>CONCERT MAGIC ボタンを押した後、鍵盤で曲選択をせずに <sup>プレイ/ストップ</sup>PLAY/STOP ボタンを押します。  
1 曲目から 88 曲目まで順番に繰り返し再生します。

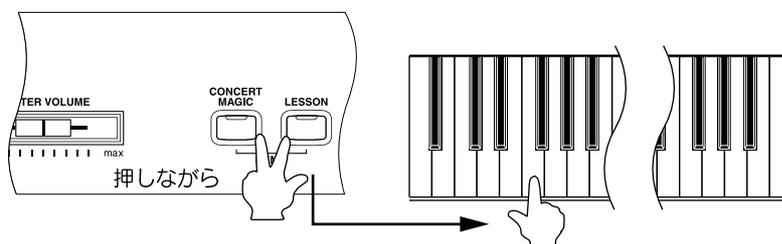
- VALUE ボタンで曲を選んだ場合はその曲から 88 曲目までを順番に再生します。



### ■グループ再生

<sup>コンサートマジック</sup>CONCERT MAGIC ボタンと <sup>レッスン</sup>LESSON ボタンを押しながら鍵盤を押します。

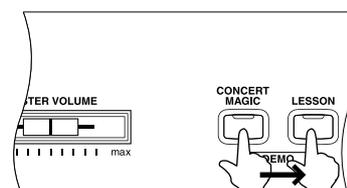
選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。  
例えば、No.21 の「ドレミの歌」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.1 ~ No.27 のグループ「子供の曲」を繰り返し再生します。



### ■ランダム再生

<sup>コンサート</sup>CONCERT MAGIC ボタンを押した後、<sup>レッスン</sup>LESSON ボタンを押します。

全コンサートマジック曲を対象に、順不同に曲の再生を続けます。  
但し、1 曲目は「きらきら星」です。



※ PLAY/STOP ボタンを押せば、演奏は止まります。

## ◇ コンサートマジック曲目

【グループ】	【曲名】	【作曲者】
子供の曲（27曲）		
1	きらきら星	フランス民謡
2	ロンドン橋	イギリス民謡
3	ふるさと	岡野貞一
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	もみじ	岡野貞一
6	ゆき	文部省唱歌
7	七つの子	本居長世
8	10人のインディアン	アメリカ民謡
9	さくらさくら	日本古謡
10	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
11	ひらいたひらいた	わらべうた
12	かくれんぼ	下総統一
13	虫のこえ	文部省唱歌
14	アイアイ	宇野誠一郎
15	うみ	井上武士
16	おもちゃのチャチャチャ	越部信義
17	かたつむり	文部省唱歌
18	春がきた	岡野貞一
19	もりのくまさん	アメリカ民謡
20	夕やけこやけ	草川信
21	ドレミの歌	O.ハマースタイン、R. ロジャース
22	北風こぞうの寒太郎	福田和禾子
23	ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
24	ゆかいな牧場	アメリカ民謡
25	パフ	P.ヤーロウ、L.リプトン
26	河はよんでいる	G.ベアール
27	こいぬのマーチ	外国曲
ディズニー／アニメ／スクリーン（13曲）		
28	狼なんか怖くない	F.チャーチル
29	チムチムチェリー	シャーマン兄弟
30	ハイホー	F.チャーチル
31	ビビディバビディブー	マークデビッド他2名
32	星に願いを	L.ハーライン
33	小さな世界	シャーマン兄弟
34	ミッキーマウスマーチ	J.ドッド
35	さんぽ	久石譲
36	エーデルワイス	O.ハマースタイン、R. ロジャース
37	チキチキバンバン	シャーマン兄弟
38	虹の彼方に	H.アーレン
39	となりのトトロ	久石譲
40	サザエさん	筒美京平
アメリカのクラシック音楽（9曲）		
41	聖者の行進	アメリカ民謡
42	おじいさんの古時計	アメリカ民謡
43	リパブリック賛歌	アメリカ民謡
44	アルプス一万尺	アメリカ民謡
45	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
46	ケンタッキーの我が家	フォスター
47	故郷の人々	フォスター
48	草競馬	フォスター
49	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡

【グループ】	【曲名】	【作曲者】
クラシック (31曲)		
50	喜びの歌	ベートーベン
51	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
52	天国と地獄	オッフェンバック
53	新世界より家路	ドボルザーク
54	エンターティナー	ジョプリン
55	メヌエット ト長調	バッハ
56	花のワルツ	チャイコフスキー
57	スケーターズ ワルツ	ワルトトイフェル
58	美しく青きドナウ	ヨハン・シュトラウス
59	闘牛士の歌	ビゼー
60	ピチカート ポルカ	ヨハン・シュトラウス
61	ブラームスの子守歌	ブラームス
62	ワシントンポストマーチ	J.P.スーザ
63	アメリカン パトロール	ミーチャム
64	眠りの森の美女	チャイコフスキー
65	ガボット	ゴセック
66	軍隊行進曲	シューベルト
67	ジムノペディ 1番	サティ
68	前奏曲作品28-7	ショパン
69	皇帝円舞曲	ヨハン・シュトラウス
70	メープルリーフ ラグ	ジョプリン
71	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
72	びっくりシンフォニー	ハイドン
73	凱行行進曲	ヴェルディ
74	エリーゼのために	ベートーベン
75	アヴェマリア	シューベルト
76	ハバネラ	ビゼー
77	ジブシーの歌	ビゼー
78	未完成交響曲	シューベルト
79	結婚行進曲	メンデルスゾーン
80	婚礼の合唱	ワーグナー
クリスマスの曲 (4曲)		
81	おめでとうクリスマス	イギリス民謡
82	ジングルベル	ピアポント
83	もろ人こぞりて	讚美歌
84	きよしこの夜	グルーパー
世界の民謡 (4曲)		
85	フニクリフニクラ	デンツァ
86	こぎつね	ドイツ民謡
87	アニーローリー	スコットランド民謡
88	サンタルチア	ナポリ民謡

## 別売コンサートマジック曲集のご案内

メロディー譜とピアノ譜が掲載されているコンサートマジック曲集をご用意致しました。  
詳しくは、付属の「楽譜集のご案内」をご覧ください。

# 3. レッスン機能の使い方

CN41 はピアノの上達に役立つ練習曲を内蔵し、様々なレッスンをすることができます。

CN41 は、次の見本曲集を内蔵しています。

1. バイエルピアノ教則本 全曲（ただし予備練習、付録を除く）（カワイ出版）
2. ブルクミュラー 25 の練習曲全曲（カワイ出版）
3. チェルニー 100 番練習曲全曲（カワイ出版）
4. チェルニー 30 番練習曲全曲（カワイ出版）

内蔵曲集から1曲を選んで次のような練習ができます。

1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手パートを再生しながら右手パートを練習する。
3. 見本曲の右手パートを再生しながら左手パートを練習する。
4. テンポを変更して練習する。
5. 曲の途中の部分を繰り返して練習する。
6. 見本曲の左手パートを再生しながら右手パートの演奏を録音して聴いてみる。
7. 見本曲の右手パートを再生しながら左手パートの演奏を録音して聴いてみる。

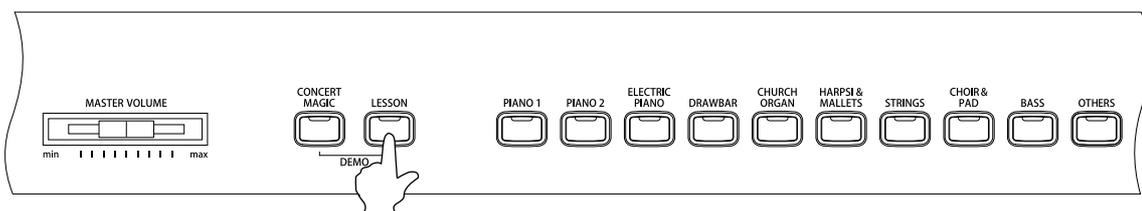
- これら練習曲のテンポは、無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。
- 設定されているテンポよりも遅くして再生した時、曲によってはテンポが下がらない場合があります。
- 練習時に指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時（フォルテ）の音量を下げてあります。

なお、練習するための楽譜はカワイ出版のものをご使用下さい。

## ◇ 練習したい曲を選ぶ

### □ 操作 1

LESSON ボタンを押します。



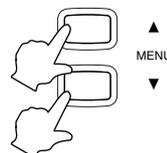
ディスプレイが練習曲選択画面になり、1行目に曲集名一曲番号、2行目に演奏小節とテンポが表示されます。

バイエル 1-001  
Bar= 1- 1 ♩=092

- この時「バイエル1番テーマ」が選択されています。

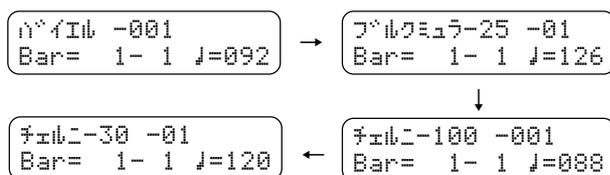
### □ 操作 2

MENU ボタン (▲▼) を数回押して練習したい曲集を選びます。



バイエル、ブルクミュラー、チェルニー 100、チェルニー 30の中から選びます。

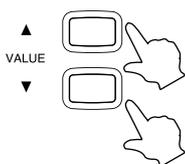
▲ボタンを押すと下記の曲集名がディスプレイに表示されます。



練習を録音中の場合は操作できません。

### □操作 3

VALUE ボタンを押して練習したい曲名を選びます。



バイエル -001-12  
Bar= 1- 1 ♩=092

バイエル	: 001、001-01 ~ 001-12、002、002-01 ~ 002-08、003 ~ 106
ブルクミュラー 25	: 01 ~ 25
チェルニー 100	: 01 ~ 100
チェルニー 30	: 01 ~ 30

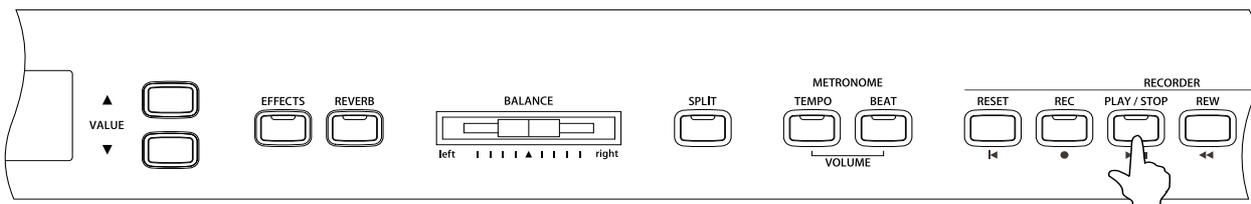
※幾つかの楽章に分かれている曲の場合は、  
曲番号の後ろに楽章番号がつきます。

練習を録音中の場合は操作できません。

## ◇見本曲を聴く

### □操作 1

RECORDERのPLAY/STOP ボタンを押します。

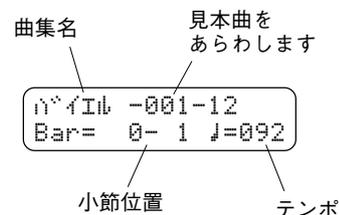


ディスプレイに現在の小節位置とテンポが表示されると同時にメトロノームが1小節鳴った後、見本曲が再生されます。

見本曲再生中もメトロノームが再生されますが、メトロノームを切りたい場合にはMETRONOMEのTEMPOボタンをオフにします。

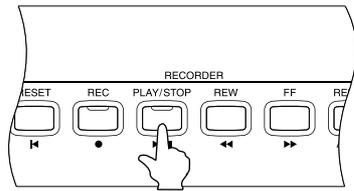
テンポを変更して聴きたい場合にはVALUEボタンを押します。▼で遅く、▲で速くなります。  
変更した後、元のテンポに戻す場合にはVALUEの▲と▼ボタンを同時に押します。

■弱起の場合、最初の小節位置はゼロとなります。



## □操作 2

レコーダー プレイ/ストップ  
RECORDERのPLAY/STOP ボタンをもう一度押します。



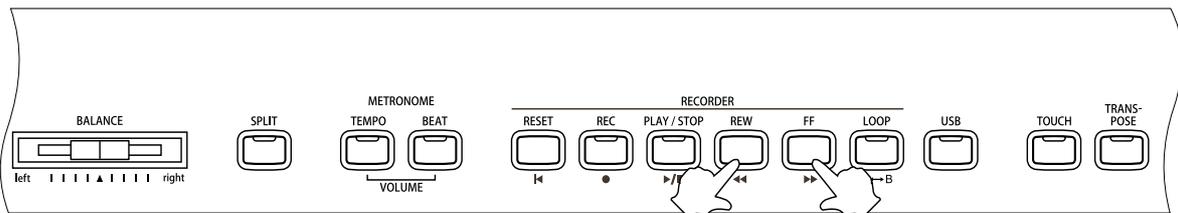
見本曲の再生が止まります。

もう一度PLAY/STOP ボタンを押すと、1小節メトロノームが鳴った後、止めた小節の最初から再生が始まります。最初から再生したい場合にはPLAY/STOP ボタンを押して演奏を止めてからRESET ボタンを押します。

## ◇見本曲の途中から再生する

## □操作 1

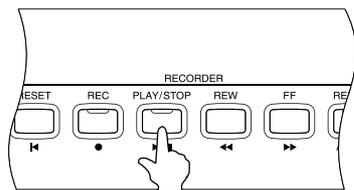
FF ボタン、REW ボタン (▶▶ ◀◀) を押します。



▶▶ボタンを押すと1小節進みます。◀◀ボタンを押すと1小節戻ります。押し続けると早く進み(戻り)ます。再生中でも操作可能です。

## □操作 2

プレイ/ストップ  
PLAY/STOP ボタンを押します。

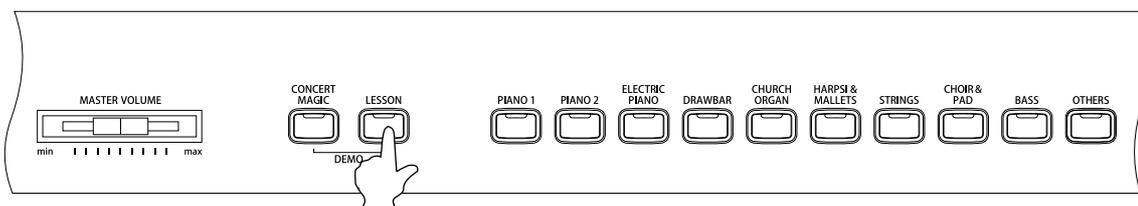


1小節メトロノームが鳴った後、指定した小節から再生が始まります。

## ◇ レッスン機能を終了する

## □ 操作 1

LESSON ボタンを押します。



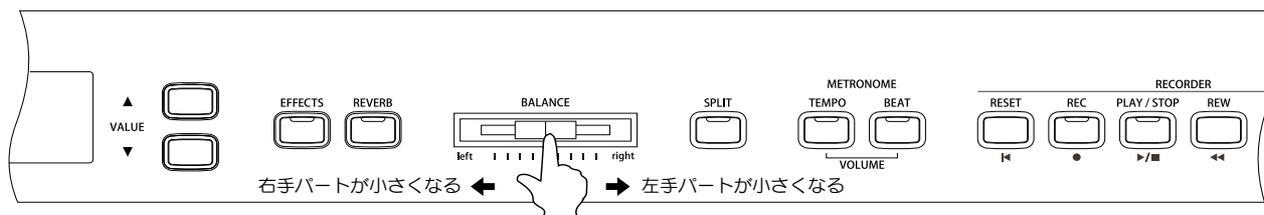
LESSON ボタンが消灯し、通常の状態に戻ります。

## ◇ 見本曲の片方のパートを再生しながら、もう片方のパートを練習する

見本曲の片方のパートだけを再生することを「マイナスワン再生」といい、片方のパートを再生させながらもう片方のパートを練習することを「マイナスワン練習」といいます。

## □ 操作 1

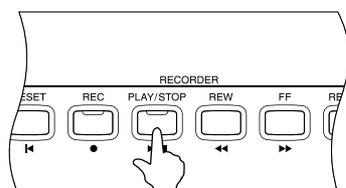
見本曲を選んだ後、BALANCE スライダーを右、あるいは左に動かします。



- 見本曲の左手パートを再生しながら右手パートを練習したい場合  
スライダーを左に動かします。左に動かすと見本曲の右手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。左端にすると右手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。
- 見本曲の右手パートを再生しながら左手パートを練習したい場合  
スライダーを右に動かします。右に動かすと見本曲の左手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。右端にすると左手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。
- 自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、見本曲の再生を小さくするか、消して下さい。
- バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、スライダーを左にすると生徒のパートが小さくなり、右にすると先生のパートが小さくなります。

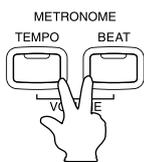
## □ 操作 2

RECORDER の PLAY/STOP ボタンを押します。



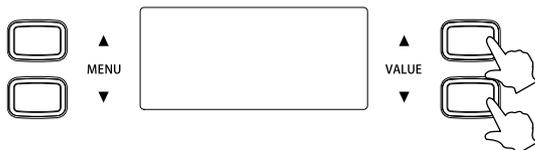
メトロノームが1小節鳴った後、セットしたスライダーの状態で見本曲の再生が始まりますので、見本曲に合わせて片方のパートを演奏して練習します。

メトロノームの音量はTEMPOとBEATを両方押すとディスプレイに数値が表示されますので、VALUEボタンで調節します。メトロノームを切りたい場合には METRONOME の TEMPO ボタンをオフにします。

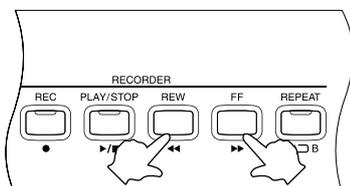


ホールド = 5

TEMPO ボタンを押しながら VALUE ▲▼ボタンを押してテンポを変更できます。遅いテンポで練習したい場合には、VALUE ボタンの▼を押します。▲を押すと速くなります。元のテンポに戻す場合には VALUE の▲と▼ボタンを同時に押します。



曲の途中から練習したい時は、FF ボタン、REW ボタンを押して小節を選びます。

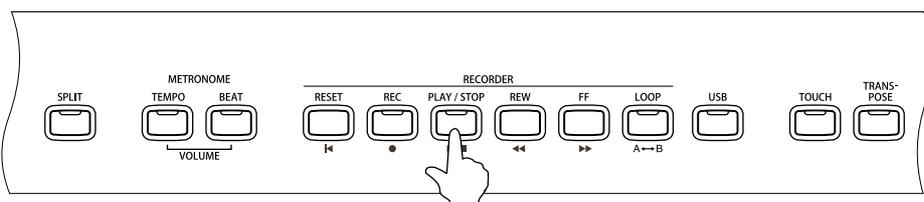


### ◇ 見本曲の途中を繰り返して練習する

見本曲の中の小節位置を 2ヶ所指定してその区間を繰り返し再生したり（リピート再生）、繰り返してマイナスワン練習をすることができます。

#### □操作 1

レコーダー プレイ ストップ  
RECORDERのPLAY/STOP ボタンを押します。

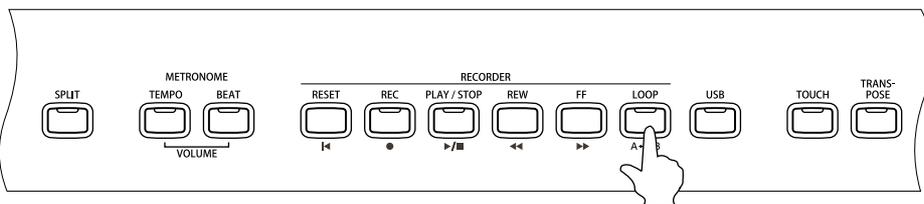


メトロノームが 1 小節鳴った後、見本曲が再生されます。

メロイロ -001-12  
Bar= 0- 1 ♪=092

#### □操作 2

繰り返しの演奏を始めたい位置まで再生が進んだら A ↔ B ボタンを押します。



繰り返しの最初の小節が設定され、A ↔ B ボタンのランプが点滅します。

メロイロ -001-12  
Bar= 5- 1 ♪=092

## □操作 3

繰り返し演奏を終わりたい位置まで再生が進んだらもう一度 A ↔ B ボタンを押します。

繰り返しの終わりのの小節が設定され、A ↔ B ボタンの LED が点灯します。

これで繰り返し区間が決定し、この小節の再生が終了すると、繰り返しの最初の小節に戻って再生を続けます。

```
n°イニル -001-12
Bar= 10- 2 ↓=092
```

## □操作 4

さらにもう一度 A ↔ B ボタンを押すと繰り返し再生が解除され、通常の再生を続けます。

A ↔ B ボタンのランプが消灯します。

- ここで設定したリピート区間（最初の小節と最後の小節）は、リピートを解除するか、別の曲を選ぶか、練習曲モードを終了するまでは本体に記憶されています。

```
n°イニル -001-12
Bar= 21- 2 ↓=092
```

また、リピート区間は、停止中に▶▶ボタン、◀◀ボタンで小節位置を選んで設定することもできます。

- 最初の小節より前の位置に終わりの小節を設定することはできません。

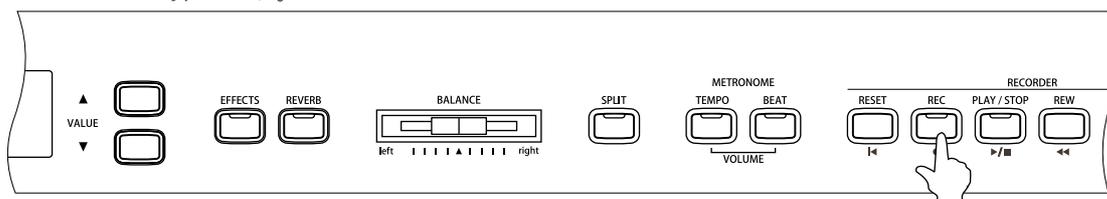
## ◇見本曲に合わせて録音する

見本曲をマイナスワン再生しながら、片方のパートの自分の演奏を録音した後、それを聞いて自分でチェックすることができます。

- リピート再生の設定をしている場合、リピートは無効になります。

## □操作 1

REC ボタンを押します。



REC ボタンのランプと PLAY/STOP ボタンのランプが点灯し、メトロノームが 1 小節鳴った後、見本曲の再生と演奏の録音が始まります。

```
n°イニル -001-12
Bar= 5- 1 ↓=092
```

録音をはじめる前に、▶▶ボタンと◀◀ボタンで録音開始位置を変えることができます。

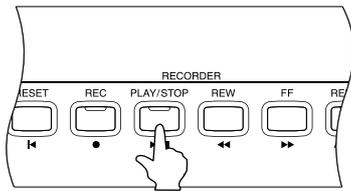
BALANCE スライダーで見本曲の右手、左手パートの音量を変えることができます。

録音した演奏は REC ボタンと PLAY/STOP ボタンを同時に押すと消去することができます。

## □操作 2

プレイストップ

PLAY/STOP ボタンを押して、録音を終わります。



見本曲の再生と演奏の録音が終了し、REC ボタンと PLAY/STOP ボタンのランプが消灯します。  
録音した演奏は REC ボタンと PLAY/STOP ボタンを同時に押すと消去することができます。

■録音した演奏は別の見本曲を選ぶと消去されます。

```

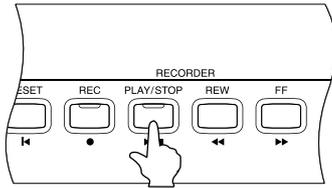
n°イロ -001-12
Bar= 12- 3 ↓=092

```

## □操作 3

プレイストップ

もう一度 PLAY/STOP ボタンを押します。



```

n°イロ -001-12
Bar=  5- 1 ↓=092

```

メトロノームが1小節鳴ったあと見本曲と録音した演奏が再生されます。

▶▶ボタンと◀◀ボタンで再生開始位置を変えることができます。

BALANCE スライダーで見本曲の右手、左手パートの音量を変えることができます。

## □操作 4

プレイストップ

PLAY/STOP ボタンを押します。

```

n°イロ -001-12
Bar=  9- 1 ↓=092

```

見本曲と練習の演奏が止まります。

# 4. レコーダーの使い方

## 1) 録音

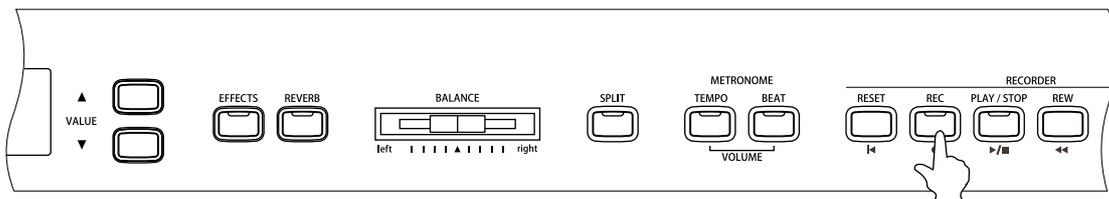
CN41では、レコーダー機能を使って自分の演奏を3曲（3ソング）まで録音して再生することができます。それぞれの曲（ソング）は、2つのパートから構成されています。

- ① 1つのパートを使って両手の録音、再生をすることができます。
- ② 2つのパートを使えば、右手と左手をそれぞれのパートに別々に録音した後、別々に再生して片手ずつの練習に役立てることができます。両方のパートを合わせて再生することもできます。

### ◇ 録音するソングとパートの選択

#### □ 操作 1

レック  
REC ボタンを押します。



ディスプレイにソングとパートが表示されます。  
REC ボタンが点滅します。

```
ソング 1   no-t=1
レックオン   ♯=120
```

#### □ 操作 2

メニュー  
MENU ボタンを押して録音したいソングを設定します。



```
ソング 1   no-t=1
レックオン   ♯=120
```

↑ ↓ MENU ボタン

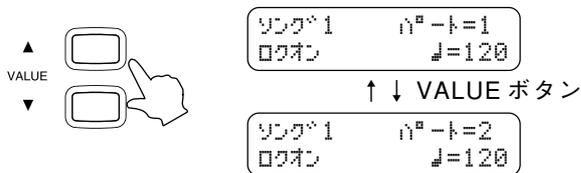
```
ソング 2   no-t=1
レックオン   ♯=120
```

↑ ↓

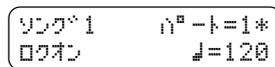
```
ソング 3   no-t=1
レックオン   ♯=120
```

## □操作 3

VALUE ボタンを押して録音したいパートを設定します。



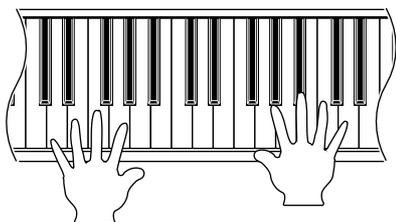
既に録音されているパートには、1行目右に\*マークが付いています。



このパートに録音すると、以前まであった演奏データが消去されて新しい演奏データが記憶されます。

## □操作 4

鍵盤を弾いて録音をスタートします。



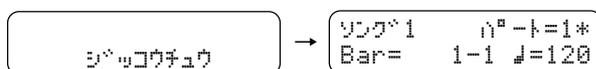
鍵盤を弾くと自動的に録音が始まります。  
このとき、REC ボタンと PLAY/STOP ボタンのランプが点灯します。

PLAY/STOP ボタンを押しても録音を開始できます。  
録音中の音色変更も記憶されます。

## □操作 5

演奏が終わったら <sup>プレイストップ</sup>PLAY/STOP ボタンを押して録音を終了します。

PLAY/STOP ボタンと REC ボタンが消灯し録音が停止します。  
ディスプレイは、録音停止を表示した後、自動的に再生待機状態の表示になります。



- レコーダーの記憶容量は、1曲につき30,000音で、3曲の合計は90,000音です。録音中に記憶容量が一杯になったときは、PLAY/STOP ボタンと REC ボタンが消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
- レコーダーに記憶した内容は、本体の電源を切っても消えません。
- パート1に既に録音されているソングのパート2に録音するとき、パート1の演奏を再生しないでパート2に録音したいときは、REC ボタンを押す前にPLAY/STOP ボタンを押し、VALUE ボタンを押してプレイパートを2に設定します。
- 録音中のパネル操作に関して...

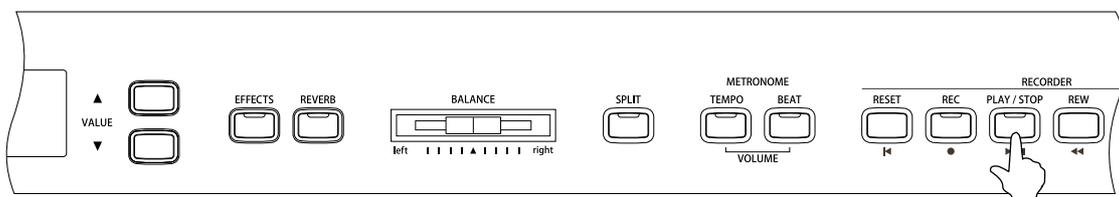
- ・音色変更、テンポ、デュアルスプリットバランスは記憶されます。
- ・デュアルスプリットモードの移行は記憶されます。
- ・エフェクト設定の変更は記憶されず、パネルで選ばれている音色に、選択されているエフェクトがそのまま使われます。
- ・タッチカーブ、トランスポーズボタンの ON/OFF 変更は、記憶されません。  
再生時はトランスポーズがどこに設定してあっても、録音したときと同じ音高で再生されます。

## 2) 再生

録音した曲を再生します。  
録音直後に再生する場合は、操作2より行ってください。

### □操作1

プレイ/ストップ  
PLAY/STOP ボタンを押します。



現在選択されているソングとパートが表示され、再生待機状態となります。

```
ソング1  n°-t=1&2*
Bar=     1-1  ♯=120
```

### □操作2

メニュー  
MENU ボタンを押して目的のソングを設定します。



```
ソング1  n°-t=1&2*
Bar=     1-1  ♯=120
```

↑ ↓ MENU ボタン

```
ソング2  n°-t=1&2
Bar=     1-1  ♯=120
```

↑ ↓

```
ソング3  n°-t=1&2
Bar=     1-1  ♯=120
```

既に録音されているパートには、右上隅に\*マークが付いています。

```
ソング1  n°-t=1&2*
Bar=     1-1  ♯=120
```

### □操作3

バリュー  
VALUE ボタンを押して目的のパートを設定します。



```
ソング1  n°-t=1&2*
Bar=     1-1  ♯=120
```

↑ ↓ VALUE ボタン

```
ソング1  n°-t=1*
Bar=     1-1  ♯=120
```

↑ ↓

```
ソング1  n°-t=2*
Bar=     1-1  ♯=120
```

パート1 & 2 : パート1と2を再生  
パート1 : パート1のみ再生  
パート2 : パート2のみ再生

## □操作 4

再度、PLAY/STOP ボタンを押し再生を開始します。

## □操作 5

演奏を停止するには、PLAY/STOP ボタンを押します。

再生待機状態となります。

ここで次の曲とパートを選択することができます。

## □操作 6

早送りをするには、FF ボタンを、巻き戻しをするには、REW ボタンを押します。

## □操作 7

頭出しをするには、RESET ボタンを押します。

## □操作 8

音色ボタンを押すと通常の状態に戻ります。

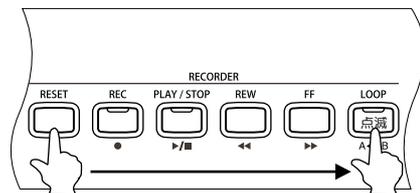
## 3) 繰り返し再生

1 曲を繰り返し再生したり、曲の一部分を繰り返し再生します。

### ◇ 1 曲を繰り返し再生したい場合

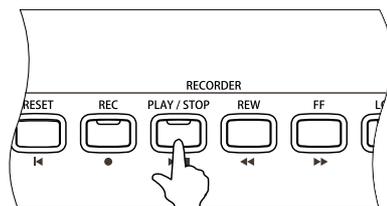
## □操作 1

RESET ボタンを押し、曲の頭出しをした上で、LOOP ボタンを押し、LOOP ボタンのランプを点滅させます。



## □操作 2

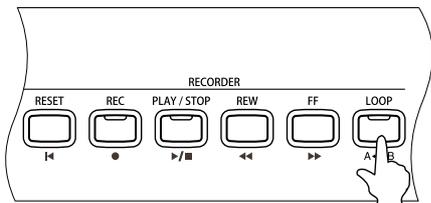
PLAY/STOP ボタンを押し、曲を再生します。



選ばれている曲が繰り返し再生されます。一度最後まで聞いたところでLOOPボタンのランプが点灯に変わります。

## □操作 3

再度<sup>ループ</sup> LOOP ボタンを押し、<sup>ループ</sup> LOOP ボタンのランプが消えると繰り返し再生が解除されます。

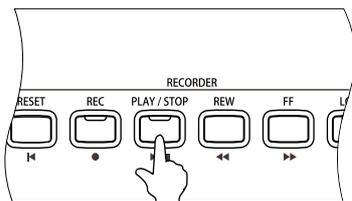


曲の最後まで再生され止まります。

## ◇曲の一部を繰り返したい場合

## □操作 1

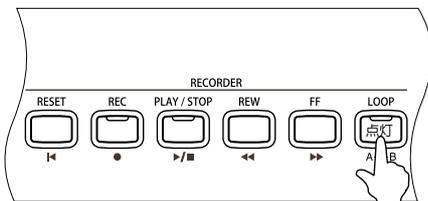
<sup>プレイ/ストップ</sup> PLAY/STOP ボタンを押し、曲を再生します。



選ばれている曲が繰り返し再生されます。

## □操作 2

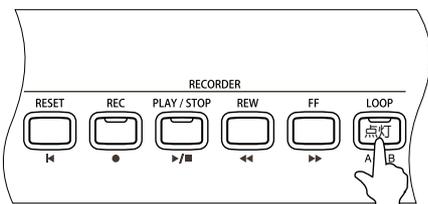
繰り返したい最初の小節(A)内で<sup>ループ</sup> LOOP ボタンを押します。



LOOP ボタンのランプが点滅します。

## □操作 3

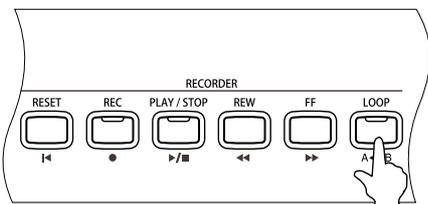
繰り返したい終わりの小節(B)内で<sup>ループ</sup> LOOP ボタンを押します。



LOOP ボタンのランプが点灯し、点滅させていた小節を繰り返し再生します。

## □操作 4

再度<sup>ループ</sup> LOOP ボタンを押し、<sup>ループ</sup> LOOP ボタンのランプが消えると繰り返し再生が解除されます。



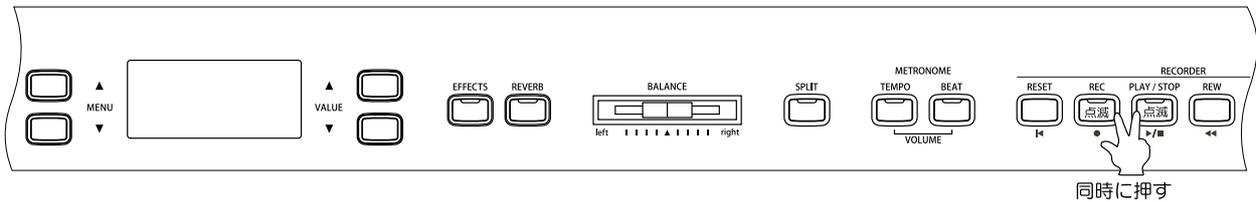
曲の最後まで再生され止まります。

## 4) パートのデータ消去

ここでは、録音に失敗したり、いらなくなった曲を1パートずつ消去します。

### □操作 1

<sup>プレイストップ</sup>PLAY/STOP ボタンと <sup>レック</sup>REC ボタンを同時に押します。

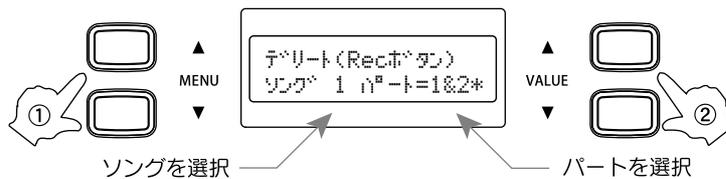


PLAY/STOP ボタンと REC ボタンのランプが点滅します。

テリート(Recボタン)  
ソング 1 パート=1&2\*

### □操作 2

<sup>メニュー</sup>MENU ボタンを押してソングを、<sup>バリュー</sup>VALUE ボタンを押してパートを選びます。



### □操作 3

<sup>レック</sup>REC ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

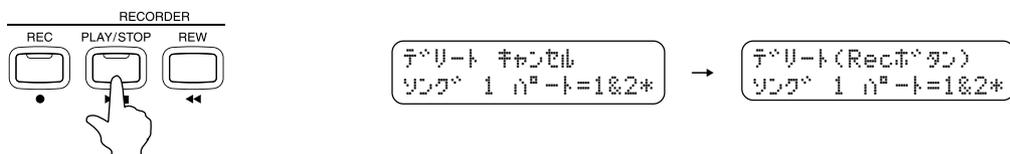


### □操作 4

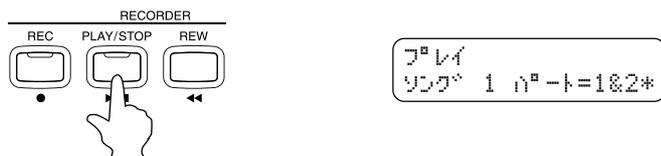
再度 <sup>レック</sup>REC ボタンを押すとパートのデータが消去されます。

テリート コンフリート  
ソング 1 パート=1&2\*

※操作 3 で消去を中止する場合は、<sup>プレイストップ</sup>PLAY/STOP ボタンを押します。



さらに PLAY/STOP ボタンを押すと、ディスプレイは再生時の表示となります。



- 複数のソング/パートを消去するときは、繰り返し操作を行ってください。
- 録音されているすべてのソングを消去したい場合は、PLAY/STOP ボタンと REC ボタンを押しながら、電源を入れてください。

# 5. USBレコーダーの使い方

ユーエスピー トゥ デバイス

USB to Device 端子には USB メモリーや USB フロッピーディスクドライブをつなぐことができ、SMF ファイルの再生や録音ができます。本機は USB to Device 端子を 2 つ装備しています（フロントパネル部 P.7、ジャック部 P.73 参照）。

動作確認済みの USB メモリー、USB フロッピーディスクドライブは弊社ホームページ <http://www.kawai.co.jp/> を参照してください。

## 1) 再生

USB ドライブに格納されている曲(SMF)を再生します。

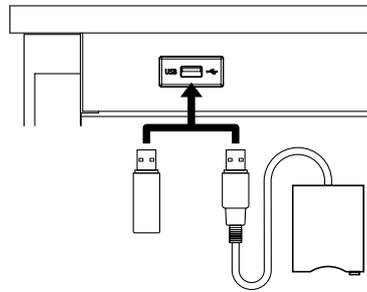
### □操作 1

ユーエスピー

ユーエスピー トゥ デバイス

USB メモリーもしくは USB ディスクドライブを前面左の USB to Device 端子に差し込みます。

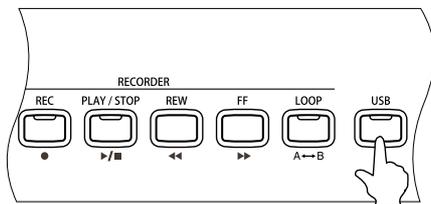
USB ディスクドライブにはフロッピーディスクを差し込みます。



### □操作 2

ユーエスピー

USB ボタンを押します。



USB レコーダー →  
USB メニュー →

### □操作 3

バリュー

ユーエスピー

VALUE ボタンの▲を押し、USB レコーダーを選びます。



SONG 1 →  
SONG 2 →

<DISK 1> →  
SONG 3 →

ソングやディレクトリのリストが表示されます。

### □操作 4

メニュー

バリュー

MENU ボタンを押し、再生したい曲をスクロールして探します。選みたい曲が上の段にきた時 VALUE ボタンを押して決定します。



SONG 1  
Bar 1-1 ♯=130

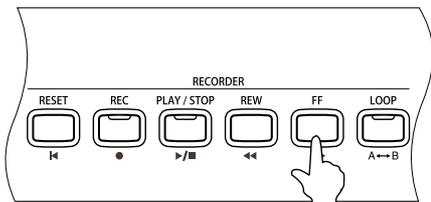
<ディレクトリ モデル>  
SONG 4

ディレクトリの中の曲を選ぶ場合も同様に選んで VALUE ボタンを押して入ります。メニューボタンでスクロールして曲を選びます。“<ディレクトリ モデル>” で VALUE ボタンを押すと前の階層に戻ります。

□操作 5  
プレイ/ストップ  
 PLAY/STOP ボタンを押すと、再生を開始します。

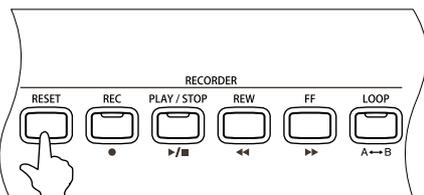
□操作 6  
プレイ/ストップ  
 演奏を停止するには、再び PLAY/STOP ボタンを押します。  
 押した小節で停止します。(ポーズ状態)

□操作 7  
 早送り、巻戻しをしたい場合は、FF ボタン又は REW ボタンを押します。



押している間、早送り又は巻戻します。

□操作 8  
リセット  
 曲の先頭へ戻りたい時は RESET ボタンを押します。

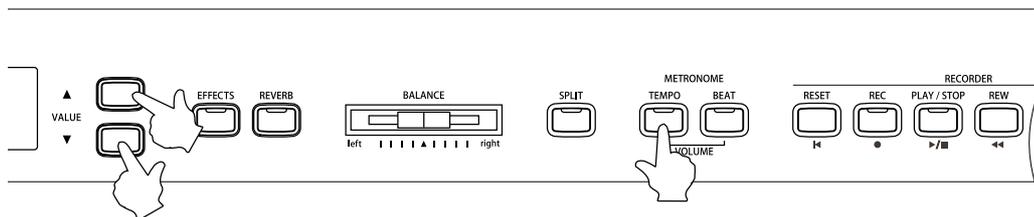


- \* USB ドライブをアクセス中に抜かないでください。
- \*\* USB to Device 端子の両方にデバイスをつないだ場合、最初につないだほうが A で後のほうが B となります。

◇テンポの変更

再生するテンポを変更することができます。

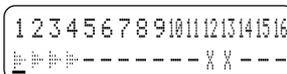
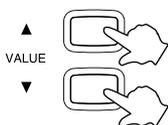
□操作 1  
テンポ      バリュー  
 TEMPO ボタンを押しながら VALUE ボタン (▲▼) を押します。



◇再生パートのミュート

再生パートのミュートが1パート毎にできます。

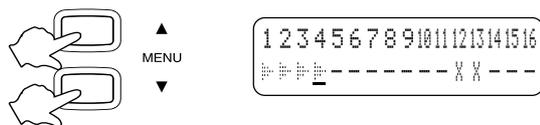
□操作 1  
バリュー  
 再生可能な曲が選ばれている時に、VALUE ボタン (▲▼) を押します。



- 再生パート
- ミュートパート
- データの無いパート

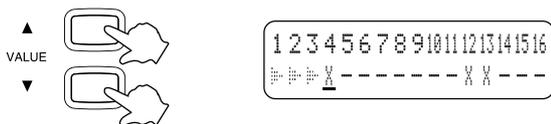
□操作2

<sup>メニュー</sup>  
MENU ボタン (▲▼) を押し、変更したいパートへカーソルを移動します。



□操作3

<sup>バリュウ</sup>  
VALUE ボタンの (▲▼) を押し、再生/ミュートを変更します。



約2秒何もボタンを操作しなければ、元の画面に戻ります。

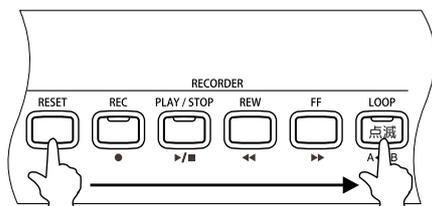
## 2) 繰り返し再生

1曲を繰り返し再生したり、曲の一部分を繰り返し再生します。

### ◇1曲を繰り返ししたい場合

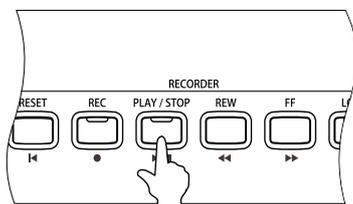
□操作1

<sup>リセット</sup>  
RESET ボタンを押し、曲の頭出しをした上で、<sup>ループ</sup> LOOP ボタンを押し、<sup>ループ</sup> LOOP ボタンのランプを点滅させます。



□操作2

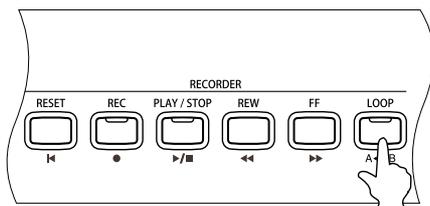
<sup>プレイ/ストップ</sup>  
PLAY/STOP ボタンを押し、曲を再生します。



選ばれている曲が繰り返し再生されます。一度最後まで聞いたところでLOOPボタンのランプが点灯に変わります。

## □操作 3

再度 LOOP ボタンを押し、LOOP ボタンのランプが消えると繰り返し再生が解除されます。

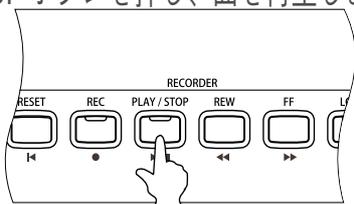


曲の最後まで再生され止まります。

## ◇曲の一部を繰り返したい場合

## □操作 1

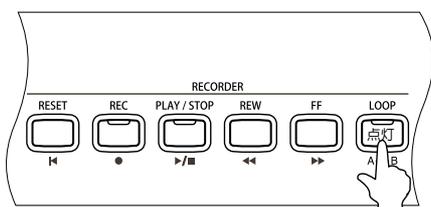
PLAY/STOP ボタンを押し、曲を再生します。



選ばれている曲が再生されます。

## □操作 2

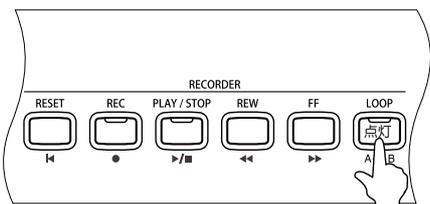
繰り返したい最初の小節 (A) 内で LOOP ボタンを押します。



LOOP ボタンのランプが点滅します。

## □操作 3

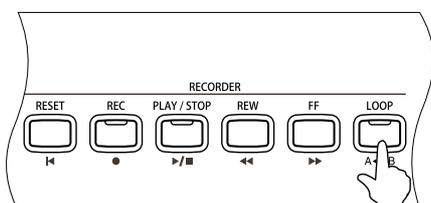
繰り返したい終わりの小節 (B) 内で LOOP ボタンを押します。



LOOP ボタンのランプが点灯し、点滅させていた小節を繰り返し再生します。

## □操作 4

再度 LOOP ボタンを押し、LOOP ボタンのランプが消えると繰り返し再生が解除されます。



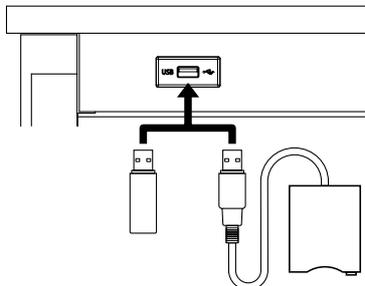
曲の最後まで再生され止まります。

### 3) 録音

USB ドライブに曲を録音します。

□操作 1

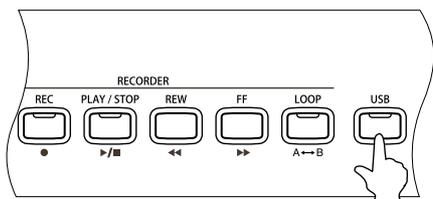
USB メモリーもしくは USB ディスクドライブを前面左の USB to Device 端子に差し込みます。



USB ディスクドライブにはフロッピーディスクを差し込みます。

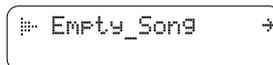
□操作 2

USB ボタンを押します。



□操作 3

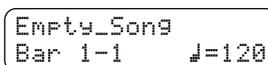
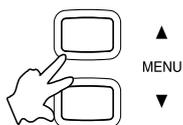
VALUE ボタンの▲を押し、USB レコーダーを選びます。



曲が入っている場合曲のリストが表示されます。  
曲が入っていない場合、「Empty\_Song」と表示されます。

□操作 4

「Empty\_Song」が上段に表示された場合は VALUE ボタンを押します。  
またリスト表示の時に MENU ボタンの▲と▼を同時に押すことでも新規の曲を選択することができます。



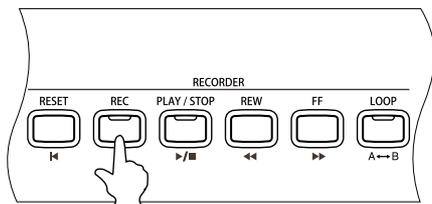
新規の曲が選択されバーやテンポも表示されます。

5  
コンピューターの使い方

## □操作 5

レック

REC ボタンを押します。



```

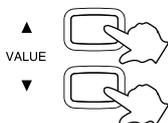
□のオクターブ= 1
Bar 1-1      ♯=120
  
```

REC ボタンのランプが点滅し、録音パート選択状態になります。

## □操作 6

バリュウ

VALUE ボタン (▲▼) を押し、録音パートを選びます。



```

□のオクターブ= 1
Bar 1-1      ♯=120
  
```

```

□のオクターブ=10 Drum
Bar 1-1      ♯=120
  
```

```

□のオクターブ= MIDI
Bar 1-1      ♯=120
  
```

```

□のオクターブ= 3*
Bar 1-1      ♯=120
  
```

1～16,MIDI を選ぶことができます。

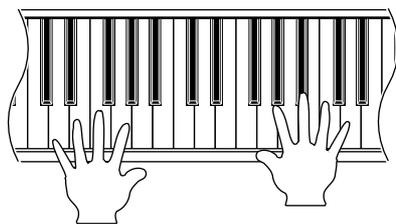
10 はドラムパートで、10 を選んだ時は鍵盤の音色がリズム音になります。

MIDI は MIDI から入ってきた情報を録音します。

既に録音されているパートを選んだ場合、パート番号の右に「\*」印が表示されます。

## □操作 7

鍵盤を弾いて、録音をスタートします。



鍵盤を弾くと自動的に録音が始まります。

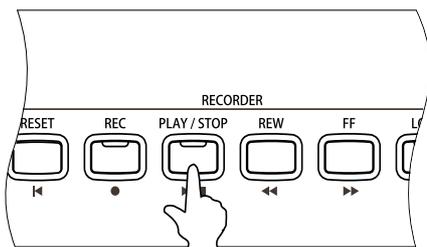
このとき、REC ボタンと PLAY/STOP ボタンのランプが点灯します。

PLAY/STOP ボタンを押しても録音を開始できます。

## □操作 8

プレイ/ストップ

演奏が終わったら PLAY/STOP ボタンを押して録音を終了します。

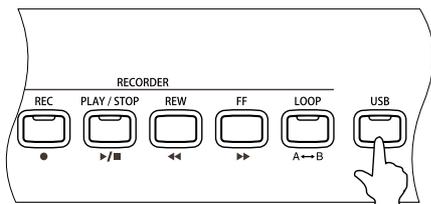


PLAY/STOP ボタンと REC ボタンが消灯し、録音が停止します。

□操作 9

ユーエスピー

USB ボタンを押します。



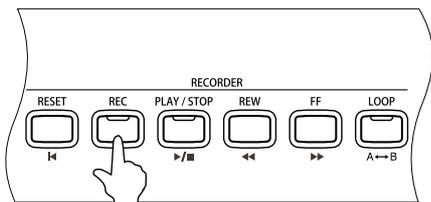
ドライブへの保存が済みましたか?  
Yes→Rec No→Stop

ドライブへの保存を問い合わせてきます。

□操作 10

ロック

REC ボタンを押します。



✕001  
NewSong001 →Rec

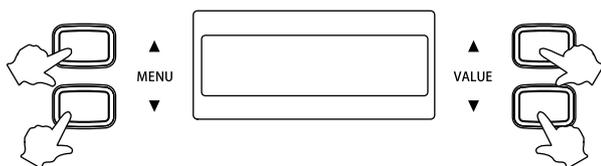
曲名を編集する画面になりますので、MENU (▲▼) でカーソルの移動、VALUE (▲▼) で文字の変更をして下さい。

ここで REC ボタンのかわりに PLAY/STOP ボタンを押すと、ドライブへの書き込みは行わず、USB レコーダーモードから抜けます。

□操作 11

メニュー

MENU ボタン (▲▼) でカーソルの移動、VALUE ボタン (▲▼) で文字を変更します。

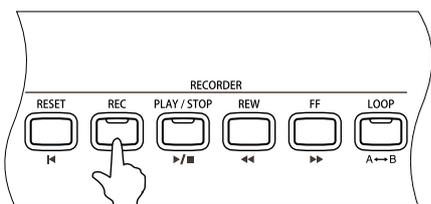


✕001  
NewSong001 →Rec

□操作 12

ロック

再度 REC ボタンを押します。



ジュークボックス  
↓  
NewSong001  
Bar 1-1 ♪=120

USB ドライブへの書き込みが始まり、書き込みが終わると、曲名が表示されます。

\* USB ドライブへの書き込み中はデバイスを抜かないで下さい。

# 6. USBメニューの操作

CN41 では、USB ドライブに対して以下の操作を行うことができます。

- 1) 内部レコーダーの保存
- 2) 曲名変更
- 3) 曲データの削除
- 4) 曲データのコピー
- 5) ディレクトリの作成
- 6) フォーマット

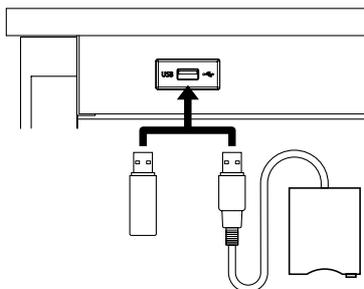
## ◇ メニューの選び方

### □ 操作 1

ユーエスピー

ユーエスピートゥ デバイス

USB メモリーもしくは USB ディスクドライブを前面左の USB to Device 端子に差し込みます。

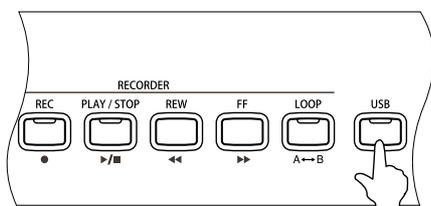


USB ディスクドライブにはフロッピーディスクを差し込みます。

### □ 操作 2

ユーエスピー

USB ボタンを押します。

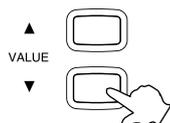


```
USB レコーダー → [RECORD]
USB メニュー → [MENU]
```

### □ 操作 3

バリュー

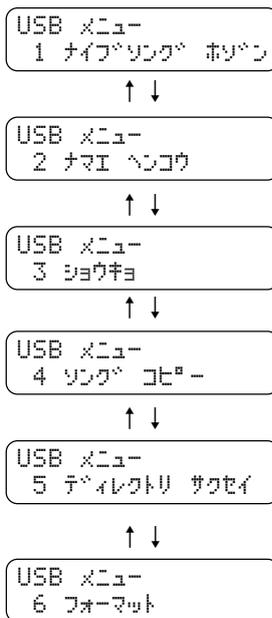
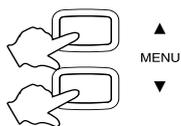
VALUE ボタンの▼を押し、USB メニューを選びます。



```
USB メニュー
1 ナイフソング ボタン
```

□操作4

MENU ボタンを押し、実行したいメニューを選びます。

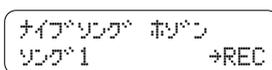
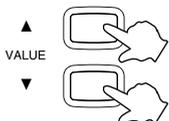


## 1) 内部レコーダーの保存

内部レコーダーに録音した曲を USB ドライブへ保存します。

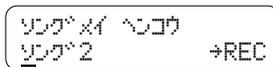
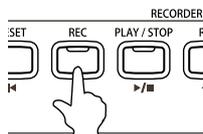
□操作1

47ページのメニューの選び方で、内部ソング保存を選び、VALUE ボタン (▼または▲) を押し、決定します。



□操作2

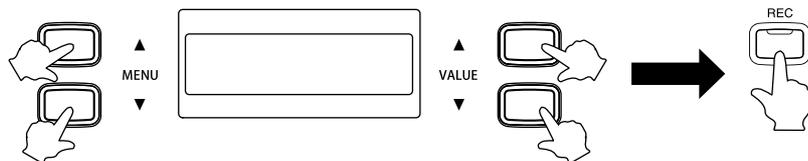
VALUE ボタン (▼または▲) を押し、保存する内部ソングを選び、REC ボタンを押し、保存する内部ソングを決定します。



カーソルが現れ、曲名を変更することができます。

## □操作 3

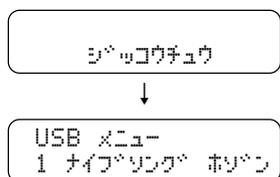
<sup>メニュー</sup>MENU ボタンでカーソルを移動、<sup>バリュ-</sup>VALUE ボタンで文字の変更をし、<sup>レック</sup>REC ボタンを押します。



書き込みが終了するとメニューの画面に戻ります。

## □操作 4

リスト表示になり書き込み先のディレクトリを変える場合は、<sup>メニュー</sup>MENU ボタンでリストをスクロールさせて  
選<sup>バリュ-</sup>び VALUE ボタンで確定します。そして <sup>レック</sup>REC ボタンを押して曲を保存します。



書き込みが終了するとメニューの画面に戻ります。

上記操作 4 で、既に USB ドライブにある曲名をつけた場合、上書きをするか、名前をつけ  
なおして保存して下さい。

オナジキョクメイカアリアス  
ウワカキシマスか?

↑ ↓ 交互に表示

ウワカキシマスか?  
Yes→REC No→STOP

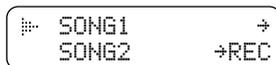
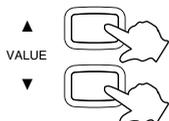
- 上書きする場合、REC ボタンを押して下さい。
- 名前をつけなおす場合、PLAY/STOP ボタンを押して下さい。  
前の画面にもどります。

## 2) 曲名変更

USBドライブに保存されている曲名を変更します。ディレクトリ名も変更できます。

### □操作 1

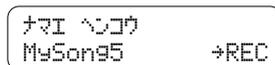
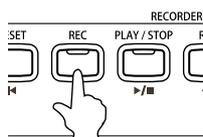
47ページのメニューの選び方で、ソング名変更を選び、VALUEボタン(▼または▲)を押し、決定します。



ソングまたはディレクトリのリストが表示されます。

### □操作 2

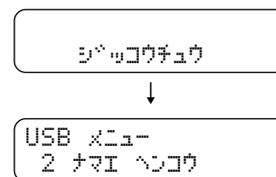
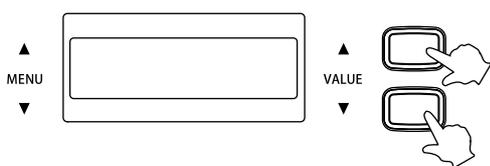
MENUボタン(▼または▲)を押し、リストをスクロールさせて上の段に変更する曲やディレクトリを合わせて、RECボタンを押します。



カーソルが現れ、曲名を変更することができます。

### □操作 3

MENUボタンでカーソルを移動、VALUEボタンで文字の変更をし、RECボタンを押すと、曲名が変更されます。



書き込みが終了するとメニューの画面に戻ります。

上記操作 3 で、既に USB ドライブにある曲名をつけた場合、上書きをするか、名前をつけないおして保存して下さい。(49 ページ参照)

\* 次の文字は使用できません

¥ / : \* ? " < > |

### 3) 曲データの削除

USBドライブに保存されている曲や空のディレクトリ<sup>から</sup>を削除します。

#### □操作 1

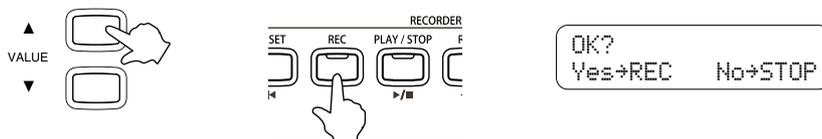
47ページのメニューの選び方で、消去を選び、VALUEボタン<sup>バリュー</sup>(▼または▲)を押し、決定します。



ソングまたはディレクトリのリストが表示されます。

#### □操作 2

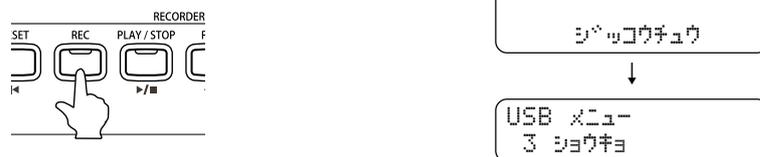
MENUボタン<sup>メニュー</sup>(▼または▲)を押し、リストをスクロールさせて上の段に消去する曲やディレクトリを合わせて、RECボタン<sup>レック</sup>を押します。



確認の画面が表示されます。

#### □操作 3

消去しても良い場合はRECボタン<sup>レック</sup>を押します。



消去が終了するとメニューの画面に戻ります。

■消去を取りやめる時はPLAY/STOPボタンを押します。

## 4) 曲データのコピー

USBドライブに保存されている曲をコピーします。

### □操作 1

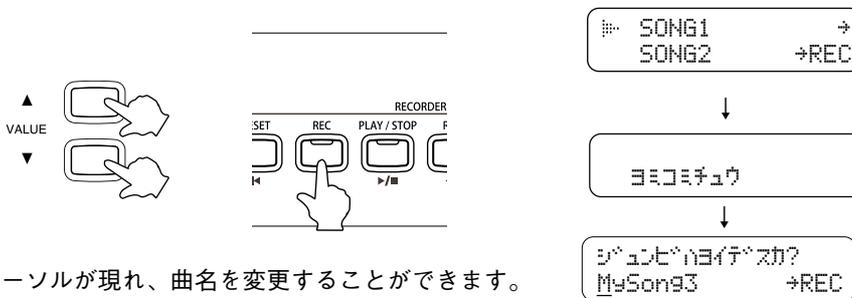
47ページのメニューの選び方で、ソングコピーを選び、VALUEボタン（▼または▲）を押して決定します。



ソングまたはディレクトリのリストが表示されます。

### □操作 2

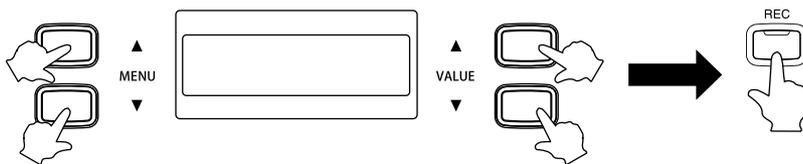
MENUボタン（▼または▲）を押して、リストをスクロールさせて上の段にコピーしたい曲を合わせて、RECボタンを押します。



カーソルが現れ、曲名を変更することができます。

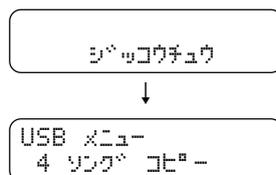
### □操作 3

MENUボタンでカーソルを移動、VALUEボタンで文字を変更をし、RECボタンを押します。



### □操作 4

再びリスト表示画面になりますので書き込み先のディレクトリを変更するときはMENUボタンでリストをスクロールさせて選びVALUEボタンで決定します。  
のちRECボタンを押します。



書き込みが終了するとメニューの画面に戻ります。

操作3でディスクを入れかえれば、別のディスクへコピーができます。

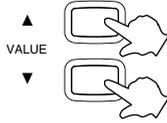
上記操作3で、既にフロッピーディスクにある曲名をつけた場合、上書きをするか、名前をつけなおして保存して下さい。(49ページ参照)

## 5) ディレクトリの作成

USBドライブにディレクトリを作ることができます。

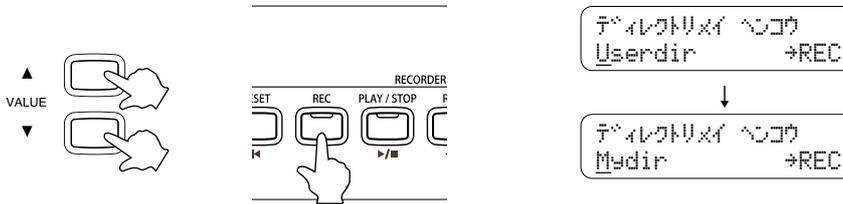
### □操作 1

47ページのメニューの選び方で、ディレクトリの作成を選び、VALUE ボタン (▼または▲) を押し、決定します。



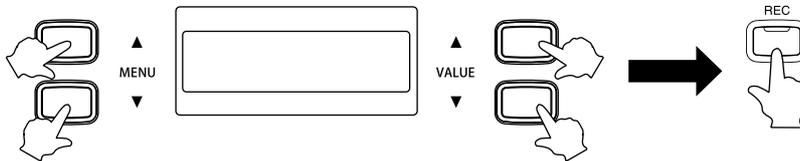
### □操作 2

リスト画面になりますので作成先を変更する場合はMENUとVALUEを使って変更し、REC ボタンを押します。



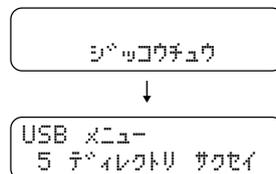
### □操作 3

MENU ボタンでカーソルを移動、VALUE ボタンで文字を変更をします。



### □操作 4

REC ボタンを押すとディレクトリが作られます。  
終了するとメニューの画面に戻ります。



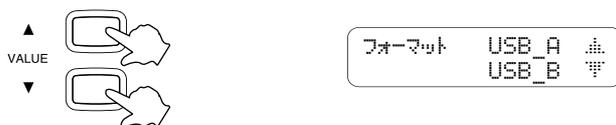
## 6) フォーマット

新しいディスクやCN41で使用可能ではないディスクを使用する場合は、まずディスクのフォーマットをします。フォーマットを行うと記録されているデータが消えてしまいますので、フォーマットを始める前に次の点を確認してください。

- ・記録されているデータを本当に消してもよいですか？
- ・ディスクのツメは書き込み可能になっていますか？

### □操作 1

フォーマットしたい<sup>ユーエスビー</sup>USBデバイスをセットして、47ページのメニューの選び方で、フォーマットを選び、<sup>バリュ</sup>VALUE ボタン (▼または▲) を押し、決定します。



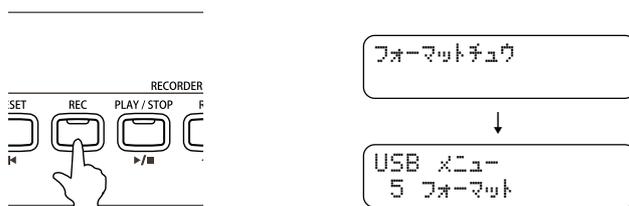
### □操作 2

<sup>バリュ</sup>VALUE ボタン (▼または▲) でUSBドライブを選びます。<sup>ユーエスビー</sup>USBデバイスが1つの場合はUSB\_Aのみ表示されますので▲を押します。



### □操作 3

フォーマットしても良い場合は<sup>レック</sup>REC ボタンを押します。



フォーマットが終了するとメニューの画面に戻ります。

■フォーマットを取りやめる時はPLAY/STOP ボタンを押します。

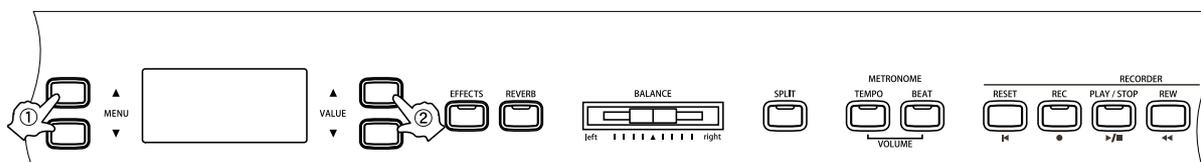
# 7. 設定モードの使い方

CN41 は、演奏を楽しむための各種設定をすることができます。  
この設定モードでは、以下の設定を行うことができます。

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1) ブリリアンス          | 12) プログラム（音色）ナンバー送信のオン/オフ              |
| 2) ロアー オクターブ シフト   | 13) プログラム（音色）ナンバー送信                    |
| 3) ロアー ペダルのオン/オフ   | 14) マルチティンバー モード                       |
| 4) レイヤー オクターブ シフト  | 15) チャンネルミュート<br>(マルチティンバー モード、オンの時のみ) |
| 5) レイヤー ダイナミクス     | 16) MIDIクロック                           |
| 6) ダンパーホールド        | 17) ユーザーメモリー                           |
| 7) チューニング          | 18) ファクトリー リセット                        |
| 8) 音律              | 19) 表示言語                               |
| 9) 音律の主音           |  |
| 10) MIDI送信・受信チャンネル |  |
| 11) ローカルコントロール     |  |

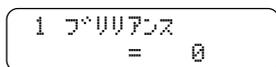
## 1) ブリリアンス

音色の明るさを調節します。



### □操作 1

<sup>メニュー</sup>  
MENU ボタンを押して、ブリリアンスの画面を表示します。



ディスプレイの2行目に値が表示されます。

### □操作 2

<sup>バリュー</sup>  
VALUE ボタンで値を [-10 ~ +10] の間で設定します。

値が大きくなるほど音色が明るくなります。

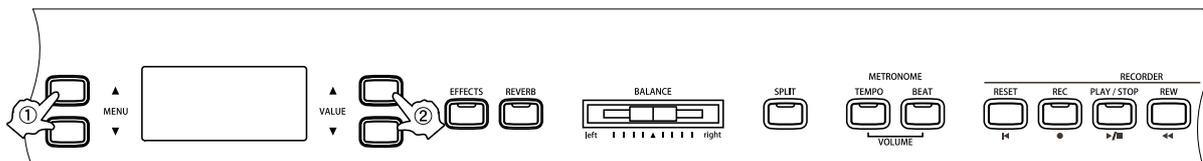
### □操作 3

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

- 電源オン時は、「0」に設定されています。  
(但し、ユーザーメモリー (P.70 参照) を設定した場合は、その設定に従います。)

## 2) ロアーオクターブシフト

ロアーオクターブシフトとは、スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動することです。



### □操作 1

MENU ボタンを数回押して、ロアーオクターブシフトの画面を表示します。

```
2 ロアー オクターブシフト
= 0
```

ディスプレイの2行目に値が表示されます。

### □操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

オクターブ値を0～3の範囲で設定します。

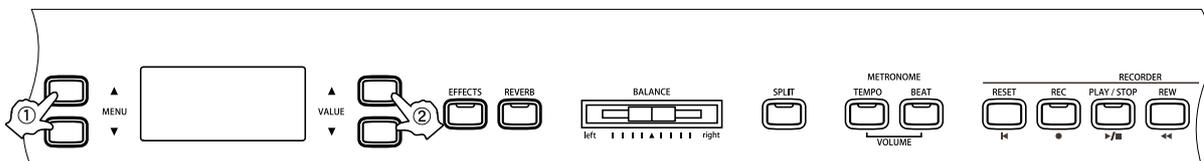
### □操作 3

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

- 電源オン時は、「0」に設定されています。  
(但し、ユーザーメモリー (P.70 参照) を設定した場合は、その設定に従います。)

## 3) ロアーペダルのオン/オフ

スプリット演奏時にペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/オフを設定できます。  
高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。



### □操作 1

MENU ボタンを数回押して、ロアーペダルの画面を表示します。

```
3 ロアー ペダル
= オフ
```

ディスプレイの2行目にオンまたはオフが表示されます。

### □操作 2

VALUE ボタンでオン/オフを設定します。

オンにすると、ペダルを踏んで演奏した際に低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。  
オフに設定すると、低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。

### □操作 3

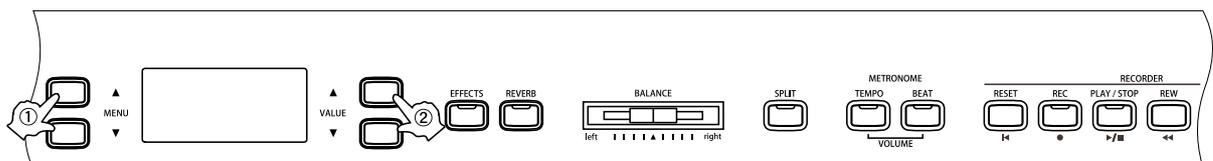
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

- 電源オン時は、「オフ」に設定されています。  
(但し、ユーザーメモリー (P.70 参照) を設定した場合は、その設定に従います。)

## 4) レイヤーオクターブシフト

レイヤーオクターブシフトとはデュアル (P.10 参照) モードで2つの音色を重ねて弾く際に、片側の音色 (レイヤー音色: ディスプレイの2行目に表示されている音色) の音域をオクターブ単位で移動することです。

例えば、コンサートグランドピアノとストリングアンサンブルをデュアルで重ねて演奏する時に、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて (あるいは下げて) 演奏することができます。



### □操作 1

MENU ボタンを数回押して、レイヤーオクターブシフトの画面を表示します。

4 レイヤーオクターブシフト  
= 0

ディスプレイの2行目に値が表示されます。

### □操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

オクターブ値を -2 ~ 2 の範囲で設定します。

－にするとオクターブ下がります。

デュアルモードでディスプレイの2行目に表示されている音色のオクターブが変わります。

- 音色によっては高音域の音が設定したオクターブまで上がらない場合があります。

### □操作 3

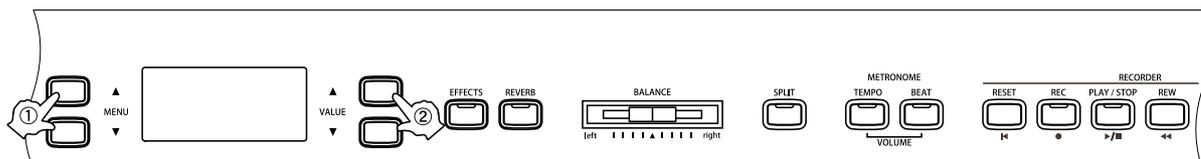
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

- 電源オン時は、「0」に設定されています。  
(但し、ユーザーメモリー (P.70 参照) を設定した場合は、その設定に従います。)

## 5) レイヤー ダイナミクス

レイヤーダイナミクスとはデュアル (P.10 参照) モードで2つの音色を重ねて弾く際に、片側の音色 (レイヤー音色: ディスプレイの2行目に表示されている音色) のタッチ変化の仕方を調整することです。

例えば、コンサートグランドピアノとストリングアンサンブルをデュアルで重ねて演奏する時に、通常の設定では、どちらの音色も同じように強弱が変化しますが、ストリングアンサンブルのタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。



### □操作 1

<sup>メニュー</sup>  
MENU ボタンを数回押して、レイヤー ダイナミクスの画面を表示します。

5 レイヤーダイナミクス  
= 10

ディスプレイの2行目に値が表示されます。

### □操作 2

<sup>バリュウ</sup>  
VALUE ボタンで値を設定します。

ダイナミクスの値を1～10の範囲で設定します。

数字が小さいほどタッチ変化の幅が小さくなります。10は単独で演奏した場合と同じダイナミクスになります。

### □操作 3

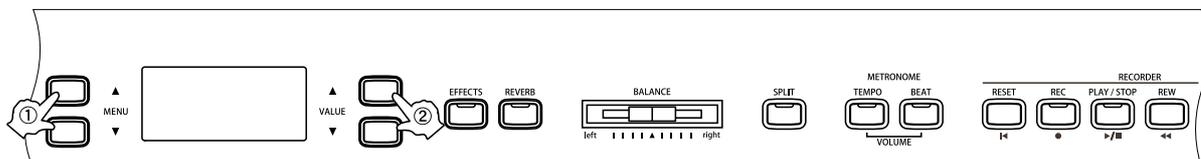
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、「10」に設定されています。

(但し、ユーザーメモリー (P.70 参照) を設定した場合は、その設定に従います。)

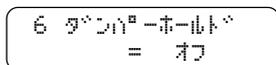
## 6) ダンパーホールドのオン/オフ

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色（鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色）に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後も音を持続させる機能です。



### □操作 1

<sup>メニュー</sup>  
MENU ボタンを数回押して、ダンパーホールドの画面を表示します。



ディスプレイの2行目にオンまたはオフが表示されます。

### □操作 2

<sup>バリュウ</sup>  
VALUE ボタンでオン/オフを選びます。

オンにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後も音が持続します。  
オフにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後、音が減衰します。

### □操作 3

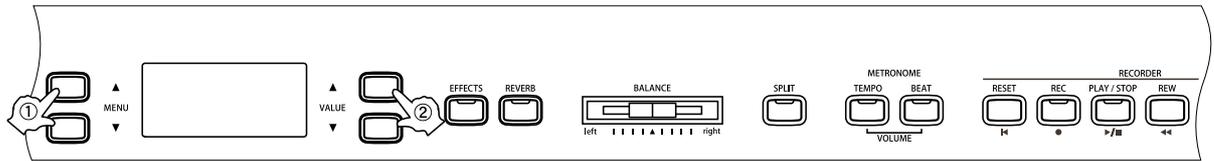
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、「オフ」に設定されています。

（但し、ユーザーメモリー（P.70 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

## 7) チューニング

チューニングは、他の楽器とピッチ（音高）を合わせるときに行います。



### □操作 1

<sup>メニュー</sup>MENU ボタンを数回押して、チューニングの画面を表示します。

```
7 チューニング
  = 440.0
```

ディスプレイの2行目に値が表示されます。

### □操作 2

<sup>バリュウ</sup>VALUE ボタンでピッチを [427.0 ~ 453.0 (Hz)] の間で設定します。

VALUE ボタンを押す度に 0.5 の単位で値を設定できます。

### □操作 3

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

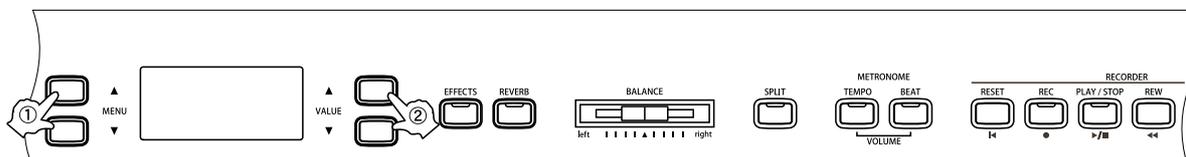
- 電源オン時は、「440.0Hz」に設定されています。  
(但し、ユーザーメモリー (P.70 参照) を設定した場合は、その設定に従います。)

## 8) 音律の設定

ピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律を内蔵しています。

本機で設定できる音律は、以下の通りです。

◆ 平均律 (ピアノ) (Equal P.only)	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律 (フラット) に従います。
◆ 純正律<長調> (Pure major)	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
◆ 純正律<短調> (Pure minor)	純正律は、長調と短調で異なります。 長調と同様の効果を短調でも得られます。
◆ ピタゴラス音律 (Pythagorean)	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
◆ 中全音律 (Meantone)	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
◆ ヴェルクマイスター第三法 (Werkmeister)	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した " 調性の性格 " を反映することのできる調律法です。
◆ キルンベルガー第三法 (Kirnberger)	
◆ 平均律 (フラット) (Equal Flat)	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変わらないという特徴があります。
◆ 平均律 (Equal Stretch)	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。



### □操作 1

<sup>メニュー</sup>  
MENU ボタンを数回押して、音律の画面を表示します。

8 オンリウ セツテイ  
= ハイキンリウクヒマノ)

ディスプレイの2行目に音律名が表示されます。

### □操作 2

<sup>バリュー</sup>  
VALUE ボタンで音律を設定します。

■平均律（ピアノ）

8 オンリツ セッテイ  
= ハイキンリツ(ピアノ)

↑ ↓ VALUE ボタン

■純正律長調

8 オンリツ セッテイ  
= シェンセイリツ1

■純正律短調

8 オンリツ セッテイ  
= シェンセイリツ2

■ピタゴラス音律

8 オンリツ セッテイ  
= ヒ<sup>o</sup>タゴラス

■中全音律

8 オンリツ セッテイ  
= チュウゼンオンリツ

■平均律（ストレッチ）

8 オンリツ セッテイ  
= ハイキンリツ

■平均律（フラット）

8 オンリツ セッテイ  
= ハイキンリツ(フラット)

■キルンベルガー第三法

8 オンリツ セッテイ  
= キルンベルガー

■ヴェルクマイスター第三法

8 オンリツ セッテイ  
= ヴェルクマイスター

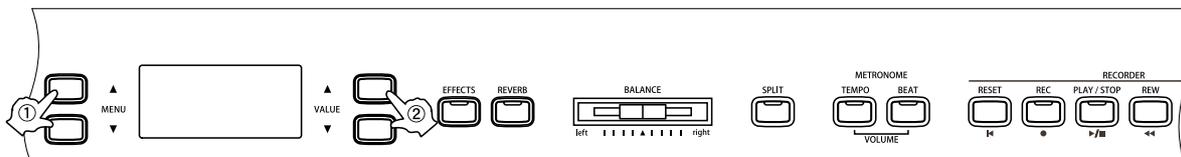
□操作 3

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は「平均律（ピアノ）」に設定されます。

（但し、ユーザーメモリー（P.70 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

## 9) 音律の主音の設定



□操作 1

<sup>メニュー</sup>  
MENU ボタンを数回押して音律の主音の設定画面を表示します。

9 オンリツ/ シェン  
= C

□操作 2

<sup>バリュー</sup>  
VALUE ボタンで主音を [C ~ B] の間で設定します。

ディスプレイの2行目に主音が表示されます。

平均律（フラット）を選択した場合は、主音の設定をしても変化はありません。

□操作 3

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時の音律の主音は、「C」に設定されています。

（但し、ユーザーメモリー（P.70 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

## ◆ MIDI について

MIDI について簡単に説明します。

MIDI (ミディ) とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするための世界統一規格です。

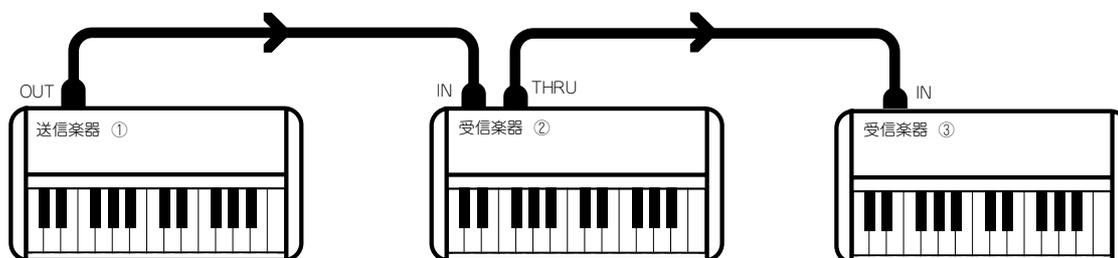
MIDI 端子には、IN、OUT、THRU の 3 つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

- IN : 鍵盤情報や音色情報を受信します。
- OUT : 鍵盤情報や音色情報を送信します。
- THRU : 受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの 2 種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。

受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

例えば 3 台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



送信楽器①は、送信チャンネルと共に鍵盤情報等を受信楽器②、③に送ります。

受信楽器②、③には、この情報が送られて来ます。基本的には受信楽器②、③の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば、送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。

チャンネル番号は、送信、受信とも 1～16 までの番号を使用することができます。

## ◆ CN41 の MIDI 機能

CN41 の MIDI 機能は、以下の通りです。

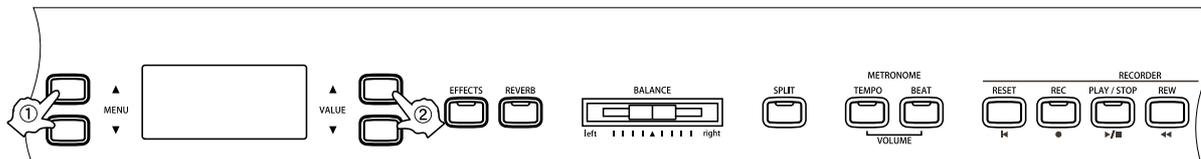
- ◆ 鍵盤情報の送信・受信  
CN41 を弾いて MIDI で接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。
- ◆ 送信・受信チャンネルの設定  
送信受信チャンネルを 1～16 の範囲で設定することができます。
- ◆ プログラム (音色) ナンバーの送信  
CN41 を弾いて MIDI で接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。
- ◆ ペダル情報の送信・受信  
ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのオン/オフ情報の送信・受信ができます。
- ◆ ボリューム情報の受信  
シンセサイザー等を弾いて、CN41 の音を出しているとき、シンセサイザーで CN41 の音量をコントロールすることができます。
- ◆ マルチティンバーの設定  
CN41 が受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。
- ◆ エクスクルーシブデータの送信・受信  
フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。
- ◆ レコーダーの再生情報の送信  
レコーダーに録音した演奏を、MIDI で接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

CN41 の MIDI 機能についての詳細は、"MIDI インプリメンテーションチャート" (P.83) をご覧ください。

## 10) MIDI 送信・受信チャンネル

接続された MIDI 楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。

チャンネルは、送信チャンネルと受信チャンネルの 2 種類がありますが、CN41 では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1 つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。



### □操作 1

MENU ボタンを数回押して、MIDI チャンネルの画面を表示します。

```
10 MIDI チャンネル
= 1 (リウシユシツ)
```

ディスプレイの 2 行目にチャンネルの値が表示されます。

### □操作 2

VALUE ボタンで値を [1~16] の間で設定します。

### □操作 3

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■ CN41 は電源オン時には、1~16 のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信ようになります。オムニオフで 1ch に設定したい場合は、マルチティンバーをオフにして一度チャンネルを 2 に設定してから 1 に戻してください。

■ マルチティンバーモードが、オン (P.68 参照) のとき  
 スプリット演奏時 : 低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル+1 チャンネルで送信します。  
 例えばここでチャンネルを 3 に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は、4 チャンネルで送信されます。

デュアル演奏時 : 第 2 音色は、設定したチャンネル+1 チャンネルで送信します。

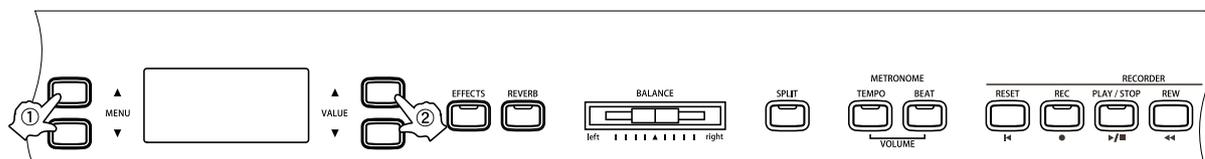
(但し、チャンネルを 16 に設定した場合は、1 チャンネルで送信します。)

## 11) ローカルコントロール

このモードは、本体の鍵盤を弾いて音を出すか、出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン/オフモードと呼びます。

ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

一方、ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らず MIDI 情報を送信するだけで、MIDI 情報を受信したときのみ音が鳴ります。



### □操作 1

<sup>メニュー</sup>  
MENU ボタンを数回押して、ローカルコントロールの画面を表示します。

11 ローカルコントロール  
= オン

ディスプレイの 2 行目にオンまたはオフが表示されます。

### □操作 2

<sup>バリュウ</sup>  
VALUE ボタンで値 [オン/オフ] を設定します。

### □操作 3

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、「オン」に設定されています。

(但し、ユーザーメモリー (P.70 参照) を設定した場合は、その設定に従います。)

## 12) プログラム（音色）ナンバー送信のオン/オフ

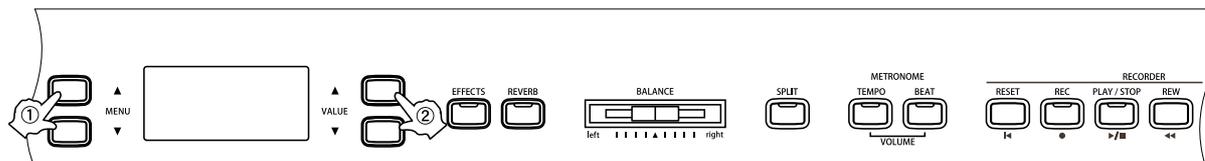
### ◇ 音色ボタンによるプログラムナンバーの送信 / パネル操作の送信

CN41 では、音色を切り替えることにより、付録の音色一覧表右側（マルチティンバーオン2の時）のプログラムナンバーを送信します。

（マルチティンバーモードをオフ又はオン1に設定したときは、付録音色リスト表左側（マルチティンバーオフ、オン1の時）のプログラムナンバーを送信します。）

また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作を MIDI エクスクループデータとして送信することができます。

この音色ボタンによるプログラムナンバーの送信やパネル操作の送信は、次の方法により送信するか、しないかオン/オフを設定することができます。



■マルチティンバーモードは 68 ページを参照して下さい。

#### □操作 1

MENU ボタンを数回押して、トランス プログラムの画面を表示します。

12 トランスプログラム  
= オン

ディスプレイの 2 行目にオンまたはオフが表示されます。

#### □操作 2

VALUE ボタンで値 [オン/オフ] を設定します。

#### □操作 3

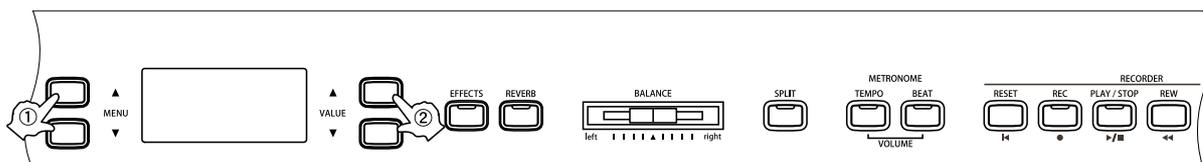
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、プログラムナンバーの送信は「オン」に設定されます。  
（但し、ユーザーメモリー（P.70 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

■マルチティンバーモードがオフの時、デュアル/スプリットモード時には、デュアル/スプリット各モードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクループで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。  
マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

## 13) プログラム（音色）ナンバー送信

CN41 では、1～128 までのプログラムナンバーを送信することができます。



### □操作 1

<sup>メニュー</sup>MENU ボタンを数回押して、プログラムナンバー送信の画面を表示します。

```
13 プログラム#ソウシシ
= 1 (UP+DOWN)
```

ディスプレイの2行目にプログラムナンバーが表示されます。

### □操作 2

<sup>バリュウ</sup>VALUE ボタンで送信する値を [1～128] の間で設定します。

### □操作 3

2つの<sup>バリュウ</sup>VALUE ボタン (▲▼) を同時に押すとプログラムナンバーの送信が実行されます。

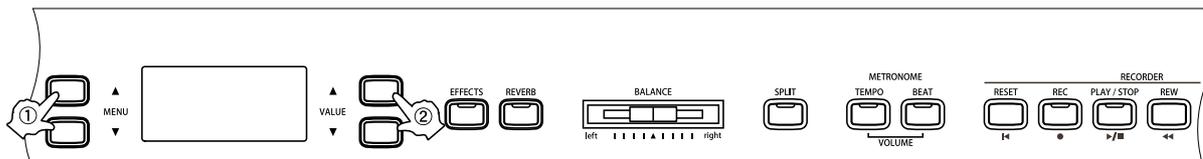
### □操作 4

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

## 14) マルチ ティンバーモード

通常は、複数の MIDI チャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができるようにしています。(受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録音色一覧表を参照ください。)

前述の方法で設定された MIDI チャンネル (1 ~ 16 のどれか 1 つ) で情報の送受信をすることもできます。



### □操作 1

<sup>メニュー</sup> MENU ボタンを数回押して、マルチティンバーの画面を表示します。

14 マルチティンバー  
= オフ

ディスプレイの 2 行目にオン、オフ 1 または オン 2 が表示されます。

### □操作 2

<sup>バリュー</sup> VALUE ボタンで値 [オフ/オン1/オン2] を設定します。

マルチティンバーモードがオフ、オン1の時にプログラムナンバーを受信すると、付録音色一覧表の表左側のプログラムナンバーに対応した音色が選ばれます。

マルチティンバーモードがオン2の時にプログラムナンバーを受信すると付録音色一覧表の表右側のプログラムナンバーとバンクナンバーに対応した音色が選ばれます。

また、受信チャンネルごとに発音のオン/オフを設定することができます。(チャンネルミュート P.69 参照)

### □操作 3

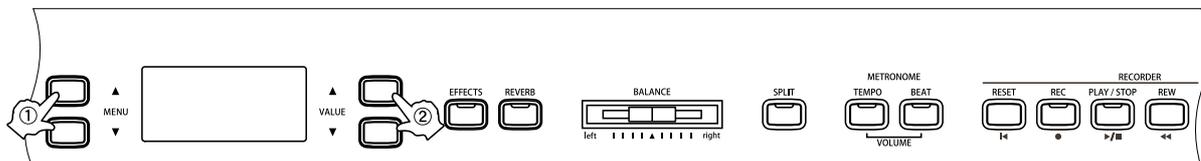
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、マルチティンバーモードは「オン2」に設定されています。

■マルチティンバーモードがオンのとき、スプリット演奏中でも各受信チャンネルの音色は全てフルスケールで鳴ります。

## 15) チャンネルミュート

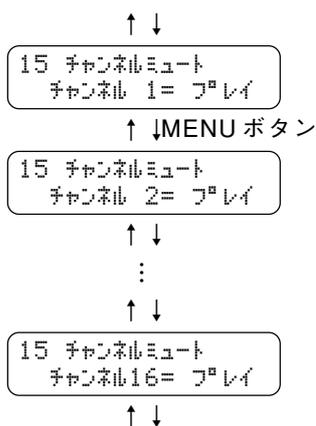
マルチティンバーモードがオンのときのみ、この画面が表示されます。  
ここでは、各チャンネルのプレイ/ミュートが設定できます。



### □操作 1

MENU ボタンを数回押して、チャンネルミュートの画面を表示します。

MENU ボタンを押す度にチャンネルナンバーが表示されます。



### □操作 2

VALUE ボタンで [プレイ/ミュート] を設定します。

15 チャンネルミュート  
チャンネル 1= フォレイ

↑ ↓ VALUE ボタン

15 チャンネルミュート  
チャンネル 1= ミュート

### □操作 3

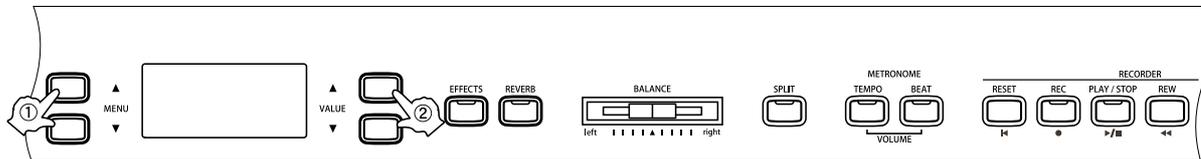
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、1～16chは「オン」に設定されています。

## 16) MIDI クロック

CN41のレコーダーを外部MIDI機器のクロックに同期させる場合は、「ガイブ」にします。

「ガイブ」にした時は、外部MIDI機器からクロックが入力されないと、レコーダーや、メトロノームは動きません。



### □操作 1

MENU ボタンを数回押して、MIDI クロックの画面を表示します。

16 MIDIクロック  
= ナイブ

### □操作 2

VALUE ボタンで [内部/外部] を設定します。

16 MIDIクロック  
= ナイブ

↑ ↓ VALUE ボタン

16 MIDIクロック  
= ガイブ

### □操作 3

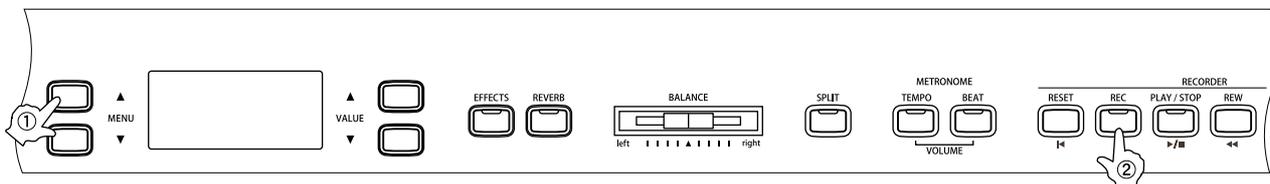
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

## 17) ユーザー メモリー

ここでは、自分の好みの設定を記憶させ、電源を入れなおしてもその設定で演奏することができます。

記憶する内容は右の通りです。

- ◆ ユーザー メモリー実行時に選択されている音色
- ◆ ユーザー メモリー実行時の各音色ごとのエフェクトセッティング
- ◆ 設定モードで設定した内容  
(ただし、マルチティンバーモード、チャンネルミュート、MIDI クロックは記憶されません)
- ◆ トランスポーズ、タッテカーブ
- ◆ メトロノームのテンポ、拍子、ボリューム



## □操作 1

<sup>メニュー</sup>  
MENU ボタンを数回押して、ユーザーメモリーの画面を表示します。

17 ユーザーメモリー  
セーブ (Recボタン)

## □操作 2

<sup>レック</sup>  
REC ボタンを押し実行します。

17 ユーザーメモリー  
セーブ コンプリート

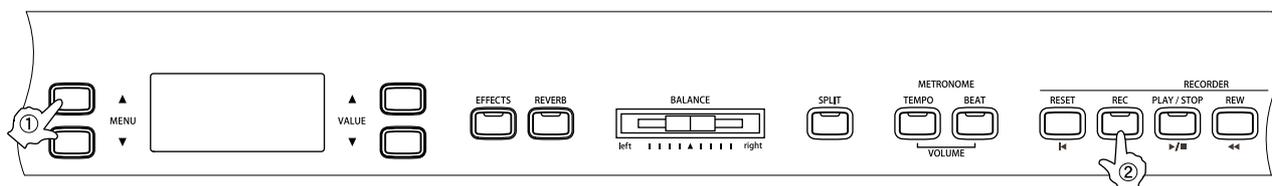
ディスプレイに、『セーブ コンプリート』と表示され、完了します。

## □操作 3

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

## 18) ファクトリーリセット

ここでは、ユーザーメモリーで設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。



## □操作 1

<sup>メニュー</sup>  
MENU ボタンを数回押して、ファクトリーリセットの画面を表示します。

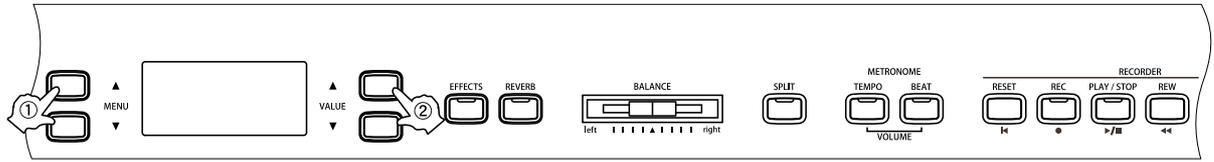
18 ファクトリーリセット  
リセット (Recボタン)

## □操作 2

<sup>レック</sup>  
REC ボタンを押すとファクトリーリセットされ、設定モードから抜けます。

## 19) 表示言語

ディスプレイに表示される言語を、日本語と英語の2言語より選択できます。



### □操作 1

<sup>メニュー</sup>MENU ボタンを数回押して、表示言語の画面を表示します。

19 エフェクト  
= リバーブ

ディスプレイの2行目に言語が表示されます。

### □操作 2

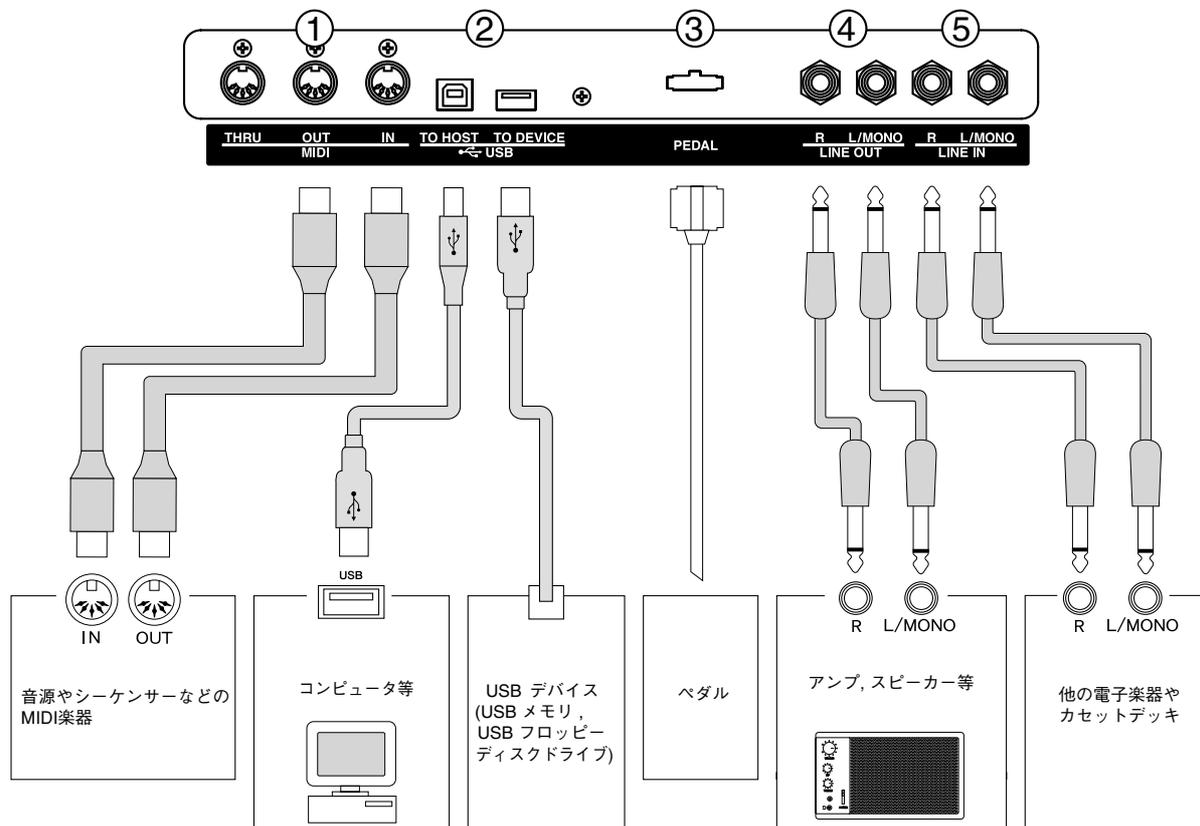
<sup>バリュー</sup>VALUE ボタンで日本語か英語を選択します。

### □操作 3

選択を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

# 8. 付 録

## ◇ 他の機器との接続



### ①MIDI (ミディ)

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

### ②USB端子

USB TO HOST : 市販のUSBケーブルでコンピュータと接続して、MIDIデータをやりとりすることができます。

・USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータ側はA端子、デジタルピアノ側はB端子でそれぞれ接続します。

USB TO DEVICE : USBメモリーやUSBフロッピーディスクドライブを接続する端子です。SMFデータの再生や保存ができます。

### ③PEDAL (ペダル端子)

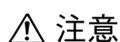
ペダルユニットから出ているペダルケーブルを接続する端子です。

### ④LINE OUT (ライン出力端子) <Phoneジャック>

CN41の音を他の外部機器(アンプ、ステレオ)などで聴いたり、カセットデッキ等に録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。Rは右側、L/MONOは左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOのみにプラグを接続したときに出力されます。

### ⑤LINE IN (ライン入力端子) <Phoneジャック>

他の電子楽器やカセットデッキなどの出力端子とこの端子を接続すると、CN41の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。この場合、本体のボリュームでは音量を調節できませんのでそれぞれの機器側で調節して下さい。Rは右側、L/MONOは左側の入力を示しています。接続した機器がモノラルの場合はL/MONOにプラグを接続して下さい。



### 注意

- ・他の機器と接続する時はCN41の電源を切ってから行って下さい。
- ・CN41のラインイン(LINE IN)とラインアウト(LINE OUT)を直接ケーブルで接続しないで下さい。発振音が発生し、故障の原因になります。

## USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USBドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。お使いのコンピュータのOSによって使用するUSBドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

Windows XP/Me をお使いの方

Windows に搭載されている標準 USB ドライバーを使用しますので、新たに USB ドライバーをインストールする必要はありません。

Windows 2000/98SE をお使いの方

指定の専用USBドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。

[http://www.kawai.co.jp/download\\_demo/driver/](http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/)

Macintosh OS X をお使いの方

Macintosh OS X は自動的に CN41 の USB インターフェースを認識しますので、特別なドライバーは必要ありません。

OS9 以前の Macintosh をお使いの方

OS9 以前の Macintosh にはサポートしておりません。市販の USB 対応 MIDI インターフェースを介して、CN41 と MIDI 接続してください。

## USB TO HOST に関するご注意

- ・ MIDI と USB が同時に接続された場合、USB が優先されます。
- ・ デジタルピアノとコンピュータを USB ケーブルで接続する場合は、まず USB ケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
- ・ デジタルピアノとコンピュータを USB 接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
- ・ デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータの USB ポートに直接接続してください。
- ・ 下記の動作中、デジタルピアノの電源オン/オフ、USB ケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
  - \* ドライバーのインストール中
  - \* コンピュータの起動中
  - \* MIDI アプリケーションが動作中
  - \* コンピュータと通信中
  - \* 省電力モードで待機中

※お使いのコンピュータの設定によっては、USB が正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

※ Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

※ Macintosh は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。

- ⚠ 注意**
- ・組立作業は、必ず2人以上で行ってください。
  - ・組み立てる前に、この説明書を一通り読んでください。
  - ・組み立てる時は、本体や鍵盤蓋や譜面台で手を挟んだり、本体を足の上に落とさないよう、十分に注意してください。

- 組み立てる前に部品が揃っていることを確認してください。  
また、組み立てには (+) ドライバーを用意してください。

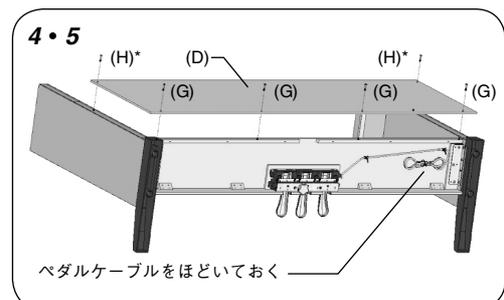
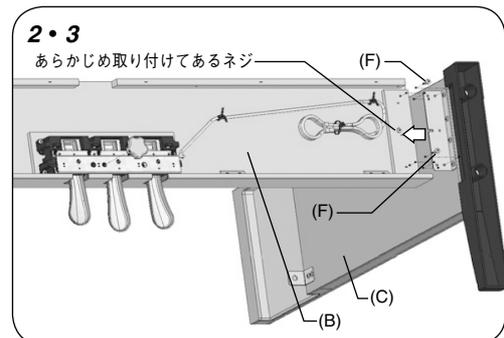
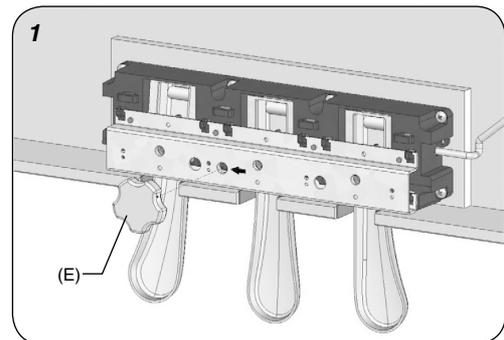
(A) 本体	… 1	(E) アジャスター	(F) φ4x16	(G) φ4x20	(H) φ4x30	(I) M6x25	(J) コード クランプ	(K) ヘッドホン フックセット
(B) ペダル土台	… 1							
(C) 親板	… 左右各 1							
(D) 裏板	… 1							
(E) アジャスター	… 1							
(F) ネジ φ4x16	… 4							
(G) ネジ φ4x20	… 4							
(H) ネジ φ4x30	… 2							
(I) ネジ M6x25	… 4							
(J) コードクランプ	… 1							
(K) ヘッドホンフック/ネジセット	… 1							



## ■ 組立手順

- ⚠ 注意** 組み立て時、床や本体、スタンドを傷つけないよう注意してください。

1. アジャスター(E)をペダルユニットのネジ穴にねじ込みます。
2. ペダル土台(B)の裏にあらかじめ取り付けられているネジの横方向から、親板(C)の金具をスライドさせ挿入します。
3. 親板(C)をペダル土台(B)にしっかりと押し当てて最初から取り付けられているネジ(左右各1本)を締めて固定し、その後、ネジ(F)(左右各2本)を締めて固定します。
4. 束ねてあるペダルケーブルをほどいて引き出しておきます。
5. 裏板(D)をセットし、下穴に合わせてネジ(G)(H)を締めて固定します。  
この時、※印の2本のネジ(H)は少し緩めておきます。



6. スタンド背面を壁にそわせ、スタンドが後ろに動かないようにし、2人以上で十分注意しながら、本体(A)をゆっくり挿入します。  
(スタンドを壁に沿わせずに本体(A)を挿入する場合は、スタンドが後方に動かないよう、足で押さえながら作業してください。)

**⚠ 注意** この時、本体を落下させないように注意し、指や手や足を挟まないよう注意してください。

7. スタンドの親板(C)を本体(A)にしっかりと密着させ、ネジ(I) (4本)でしっかりと固定します。

**⚠ 注意** 必ず本体とスタンドをネジでしっかりと固定してください。固定しないと本体がスタンドから落ち、大変危険です。

8. ヘッドホンフック/ネジセット(K)を取り付けます。  
※ヘッドホンフックが不要な方は取り付ける必要はありません。  
説明書と一緒に保管してください。

9. 緩めておいたネジ(H)※をしっかりと締めます。

10. ペダルコードのコネクタを本体のペダル端子に差し込みコードクランプ(J)でコードを固定します。  
(コネクタの突起の向きに注意し、まっすぐ差し込んでください。)

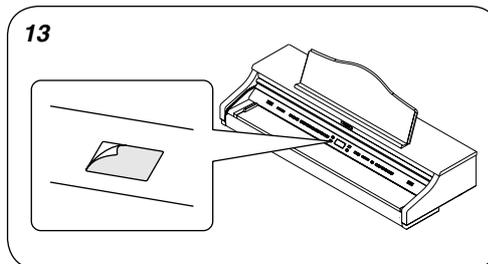
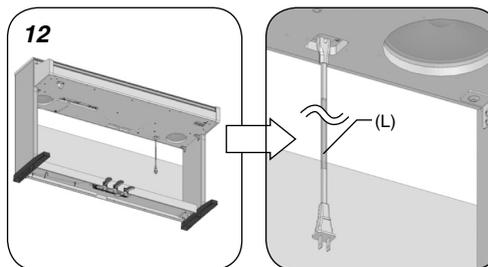
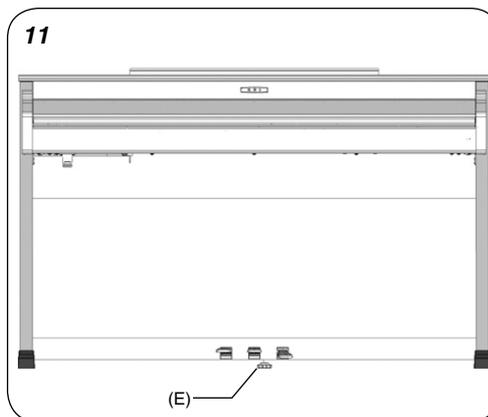
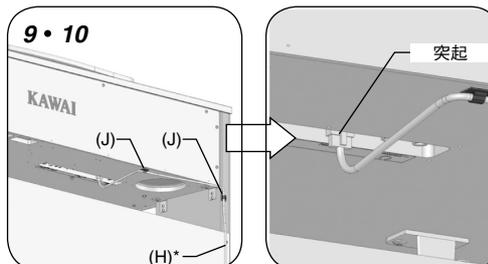
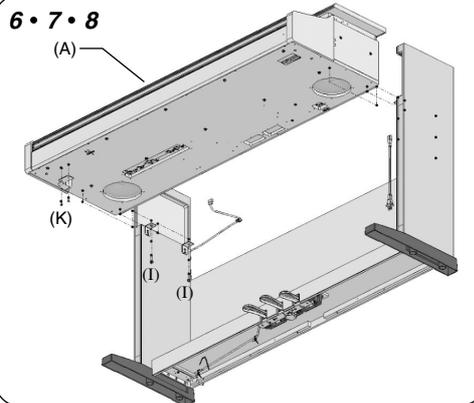
11. ペダル土台の下に取り付けたアジャスターを床にピッタリ付くまで回して、ペダル土台を支えます。

**⚠ 注意** アジャスター(E)をしっかり床につけないとペダル土台が壊れる恐れがあります。  
また、移動の際は、必ずアジャスター(E)を取り外して移動し、移動後に再調整してください。

12. 電源コード(L)を本体に差し込みます。

13. ディスプレイ保護用の透明シートを剥がします。

**組み立て終了です。お疲れさまでした。**



## ◇ 音色一覧表

■ 音色ボタンに割り当てられている音色名と、音色に対応する送受信プログラムナンバー

音色ボタン	音色名	マルチティンバー オフ、オン1の時		マルチティンバー オン2の時		
		プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
			LSB		MSB	LSB
PIANO1 (ピアノ1)	コンサートグランド*	1	0	1	121	0
	スタジオグランド*	2	0	1	121	1
	エレクトリックグランド*	3	0	1	121	2
	ジャズグランド*	4	0	1	95	8
PIANO2 (ピアノ2)	モダンピアノ	5	0	2	121	0
	ホーンピアノ	6	0	4	121	0
	ロックピアノ	7	0	2	121	1
	ニューエイジピアノ1	8	0	1	95	9
ELECTRIC PIANO (エレクトリックピアノ)	クラシックE.ピアノ1	9	0	5	121	0
	モダンE.ピアノ1	10	0	6	121	0
	60'sエレクトリックピアノ	11	0	5	121	3
	モダンE.ピアノ2	12	0	6	121	1
JAZZ ORGAN (ジャズオルガン)	ジャズオルガン1	13	0	18	121	0
	ジャズオルガン2	14	0	17	121	0
	ジャズオルガン3	15	0	17	121	1
	ジャズオルガン4	16	0	17	95	2
CHURCH ORGAN (チャーチオルガン)	チャーチオルガン1	17	0	20	121	0
	ディアハソン	18	0	20	95	7
	フルアンサンブル	19	0	21	95	1
	オクターブディアハソン	20	0	20	95	6
HARPSI & MALLETS (ハーpsi & マレット)	ハーpsiショット1	21	0	7	121	0
	ハーpsiショット2	22	0	7	121	3
	ピアノラホン	23	0	12	121	0
	クラベネット	24	0	8	121	0
STRINGS (ストリングス)	スローストリングス	25	0	45	95	1
	ストリングパッド*	26	0	49	95	8
	ウォームストリングス	27	0	49	95	1
	ストリングアンサンブル1	28	0	49	121	0
CHOIR & PAD (クワイア & パッド)	クワイア1	29	0	53	121	0
	クワイア2	30	0	54	95	53
	ニューエイジ1	31	0	89	121	0
	アトモスフィア	32	0	100	121	0
BASS (ベース)	ウッドベース	33	0	33	121	0
	エレクトリックベース	34	0	34	121	0
	フレットレスベース	35	0	36	121	0
	ウッドベース&ライト*	36	0	33	95	1

\* マルチティンバーオフ、オン1の時、バンクMSBは0

◇ OTHERS ボタン音色一覧表

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		LSB		MSB	LSB
<b>●ピアノ</b>					
ニューエイジピアノ2	37	0	1	95	10
ニューエイジピアノ3	38	0	1	95	11
ウタピアノ	39	0	1	95	1
エレクトリックグランド1	40	0	3	121	0
エレクトリックグランド2	41	0	3	121	1
ワイドオネードピアノ	42	0	4	121	1
<b>●エレクトリックピアノ</b>					
ソフトエレクトリックピアノ	43	0	5	95	2
クラスシックEピアノ	44	0	6	95	1
トロピカルエレクトリックピアノ	45	0	5	95	1
クラシックEピアノ2	46	0	5	121	1
クラシックEピアノ3	47	0	5	121	2
ニューエイジEピアノ	48	0	6	95	2
クラシックEピアノ3	49	0	6	121	2
レジェンドEピアノ	50	0	6	121	3
フェイスEピアノ	51	0	6	121	4
<b>●ハーブシコード&amp;マレット</b>					
ウタピアノ	52	0	7	121	1
ワイドハーブシコード	53	0	7	121	2
シベリア	54	0	8	121	1
チェルシ	55	0	9	121	0
グロウ	56	0	10	121	0
ミュージックボックス	57	0	11	121	0
ワイドピアノ	58	0	12	121	1
マリカ	59	0	13	121	0
ワイドマリカ	60	0	13	121	1
ソクラ	61	0	14	121	0
パトロール	62	0	15	95	1
チューブ	63	0	15	121	0
チャーチ	64	0	15	121	1
加ロ	65	0	15	121	2
ダブ	66	0	16	121	0
<b>●ジャズ オルガン</b>					
ソフトジャズ	67	0	17	95	8
ジャズ	68	0	17	95	1
ジャズ	69	0	18	95	1
ジャズ	70	0	17	95	3
ジャズ	71	0	17	121	3
エレクトリックジャズ	72	0	17	95	9
60s	73	0	17	121	2
パース	74	0	18	121	1
パース	75	0	18	121	2
ライブ	76	0	18	95	14
ロック	77	0	19	121	0
<b>●チャーチ オルガン</b>					
ウタピアノ	78	0	20	95	24
アタ	79	0	20	95	1
8'チェルシ	80	0	20	95	5
スモールアンギン	81	0	20	95	8
リーズ	82	0	20	95	10
ハイ&ロー	83	0	20	95	17
プリズン	84	0	20	95	22
チャーチ	85	0	20	121	1
チャーチ	86	0	20	121	2
リード	87	0	21	121	0
パフ	88	0	21	121	1

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		LSB		MSB	LSB
<b>●アコーディオン</b>					
ルネアコーディオン1	89	0	22	121	0
ルネアコーディオン2	90	0	22	95	1
アコーディオン1	91	0	22	121	1
アコーディオン2	92	0	22	95	2
ブルースハモニカ	93	0	23	95	2
ハモニカ	94	0	23	121	0
ダブアコーディオン	95	0	24	121	0
<b>●ギター</b>					
フィンガーピッキング	96	0	25	95	4
ピッキング1	97	0	25	121	0
ピッキング2	98	0	25	121	2
ピッキング3	99	0	25	121	3
ウクレ	100	0	25	121	1
フォークギター1	101	0	26	121	0
フォークギター2	102	0	26	121	3
12弦ギター	103	0	26	121	1
マンドリン	104	0	26	121	2
ジャズギター	105	0	27	121	0
パターナル	106	0	27	121	1
リズムギター	107	0	28	121	2
エレクトリックギター1	108	0	28	121	0
エレクトリックギター2	109	0	28	121	1
エレクトリックギター3	110	0	29	121	2
ミュートギター	111	0	29	121	0
カントリーギター	112	0	29	121	1
カントリーギター	113	0	29	121	3
オーブストラクチャー	114	0	30	121	0
ダイナミックOVD	115	0	30	121	1
ディストーション	116	0	31	121	0
ディストーション	117	0	31	121	1
ディストーション	118	0	31	121	2
Eギターハモニカ	119	0	32	121	0
ギターフィードバック	120	0	32	121	1
<b>●ベース</b>					
ウットベース2	121	0	33	95	5
フィンガーピッキングベース	122	0	34	121	1
ピッキングベース	123	0	35	121	0
スラップベース1	124	0	37	121	0
スラップベース2	125	0	38	121	0
シベベース1	126	0	39	121	0
シベベース2	127	0	40	121	0
シベベース3	128	0	39	121	2
シベベース4	1	1	40	121	1
ウォームシベベース	2	1	39	121	1
クレベース	3	1	39	121	3
ルンベース	4	1	39	121	4
ラベース	5	1	40	121	2
アタベース	6	1	40	121	3

\*マルチティンバーオフ、オン1の時、バンクMSBは0

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		L S B		MS B	L S B
<b>●ストリングス</b>					
バ'イolin	7	1	41	121	0
スロバ'イolin	8	1	41	121	1
ビ'olin	9	1	42	121	0
チェロ	10	1	43	121	0
コントラバス	11	1	44	121	0
トリプルストリングス	12	1	45	121	0
ストリングス&ブラス	13	1	49	121	1
60'sストリングス	14	1	49	121	2
ストリング'ア'ボ'ル#2	15	1	50	121	0
シテ'ストリングス1	16	1	51	121	0
シテ'ストリングス3	17	1	51	121	1
シテ'ストリングス2	18	1	52	121	0
ピ'チカ'ット	19	1	46	121	0
ハー'プ	20	1	47	121	0
クラ'ティック'ハー'プ	21	1	47	121	1
ティン'パ'ニー	22	1	48	121	0
<b>●クワイア &amp; ヒット</b>					
クラ'イ'3	23	1	53	121	1
ホ'イス'ク'ア	24	1	54	121	0
ハ'ミ'グ	25	1	54	121	1
シテ'ホ'ー'ル	26	1	55	121	0
ア'ロ'グ'ホ'ー'ル	27	1	55	121	1
ドレ'ミ'シャ'ープ	28	1	54	95	51
ドレ'ミ'フラ'ット	29	1	54	95	52
オー'グ'スト'ラ'グ'ス'	30	1	56	121	0
ハ'ース'セ'ト'ブ'ラス	31	1	56	121	1
6th'ヒ'ット	32	1	56	121	2
ユ'ロ'ヒ'ット	33	1	56	121	3
<b>●ブラス</b>					
トラ'ム'ペ'ット	34	1	57	121	0
ソ'ロ'トラ'ム'ペ'ット	35	1	57	121	1
フ'ル'グ'ル'ホ'ル'ン	36	1	57	95	1
セ'サ'ン'タ'ム'ト'ロ'ホ'ー'ン	37	1	58	95	7
ト'ロ'ホ'ー'ン1	38	1	58	121	0
ト'ロ'ホ'ー'ン2	39	1	58	121	1
プ'ラ'イト'ト'ロ'ホ'ー'ン	40	1	58	121	2
チュ'ー'バ'	41	1	59	121	0
カ'ッ'プ'ミュ'ート'ト'ラ'ム'ペ'ット	42	1	60	95	1
カ'ッ'プ'ミュ'ート'ト'ロ'ホ'ー'ン	43	1	60	95	2
ミュ'ート'ト'ラ'ム'ペ'ット1	44	1	60	121	0
ミュ'ート'ト'ラ'ム'ペ'ット2	45	1	60	121	1
フ'ル'ン'チ'ホ'ル'ン	46	1	61	121	0
ウ'ォ'ム'フ'ル'ン'チ'ホ'ル'ン	47	1	61	121	1
プ'ラ'ス'セ'ク'ショ'ン1	48	1	62	121	0
プ'ラ'ス'セ'ク'ショ'ン2	49	1	62	121	1
シ'テ'ブ'ラ'ス1	50	1	63	121	0
シ'テ'ブ'ラ'ス3	51	1	63	121	1
シ'テ'ブ'ラ'ス2	52	1	64	121	0
シ'テ'ブ'ラ'ス4	53	1	64	121	1
ジャ'ャ'プ'ブ'ラ'ス	54	1	63	121	3
ア'ロ'グ'ブ'ラ'ス1	55	1	63	121	2
ア'ロ'グ'ブ'ラ'ス2	56	1	64	121	2

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		L S B		MS B	L S B
<b>●リード</b>					
ホ'ホ'ー'イ&スト'リング'ス	57	1	69	95	5
ソ'ラ'フ'サ'ックス	58	1	65	121	0
ア'ルト'サ'ックス	59	1	66	121	0
ソ'ト'テ'ナ'サ'ックス	60	1	67	95	2
テ'ナ'サ'ックス	61	1	67	121	0
ハ'リ'ト'ン'サ'ックス	62	1	68	121	0
ホ'ホ'ー'イ	63	1	69	121	0
イ'ン'グ'リ'ッ'ジュ'ホ'ル'ン	64	1	70	121	0
ハ'ース'ン	65	1	71	121	0
ク'ラ'リ'ネ'ット	66	1	72	121	0
<b>●パイプ</b>					
フル'ト & ス'ト'リング'ス	67	1	74	95	8
ピ'ッコ'ロ	68	1	73	121	0
ジ'ャ'ス'フル'ト	69	1	74	95	1
ピ'ック'ハ'ンド'ウ'ェ'ル'ズ	70	1	74	95	2
オー'グ'スト'ラ'グ'ス'	71	1	74	95	3
フル'ト	72	1	74	121	0
バ'ラ'ード'フル'ト	73	1	74	95	13
リ'コ'ダ'ー	74	1	75	121	0
ハ'ン'フル'ト	75	1	76	121	0
ブ'ロ'ウ'ホ'ール	76	1	77	121	0
シ'ェ'カ'キ	77	1	78	121	0
ホ'イ'ッ'ル	78	1	79	121	0
オ'カ'ケ	79	1	80	121	0
<b>●シンセリード</b>					
ス'ク'エア'リ'ード'1	80	1	81	121	0
ス'ク'エア'リ'ード'2	81	1	81	121	1
サ'イン	82	1	81	121	2
ク'ラ'ック'シ'ェ'1	83	1	82	121	0
ク'ラ'ック'シ'ェ'2	84	1	82	121	1
リ'ード'	85	1	82	121	2
ク'ラ'ック'シ'ェ'3	86	1	82	121	3
シ'ー'ク'ス'ア'ロ'グ'	87	1	82	121	4
カ'リ'ホ'	88	1	83	121	0
チ'フ	89	1	84	121	0
チ'ャ'キ'グ'	90	1	85	121	0
ウ'ィ'ア'ー'リ'ード'	91	1	85	121	1
ホ'ー'イ'ス'リ'ード'	92	1	86	121	0
フ'ィ'ス'リ'ード'	93	1	87	121	0
ハ'ース&リ'ード'	94	1	88	121	0
ソ'ト'ウ'ィ'ア'ー'リ'ード'	95	1	88	121	1
<b>●シンセパッド</b>					
フ'ラ'グ'ジ'ャ'ック'ク'ラ'イ'ア'	96	1	92	121	1
ニ'ュー'エイ'ジ'2	97	1	89	95	1
ニ'ュー'エイ'ジ'3	98	1	89	95	2
ニ'ュー'エイ'ジ'4	99	1	89	95	3
ウ'ォ'ム'ハ'ット'	100	1	90	121	0
サ'イン'ハ'ット'	101	1	90	121	1
ホ'ー'リ'ジ'ン'セ	102	1	91	121	0
ク'ラ'イ'ア'ハ'ット'	103	1	92	121	0
ホ'ー'ト'ハ'ット'	104	1	93	121	0
メ'リ'タ'ック'ハ'ット'	105	1	94	121	0
ハ'ロ'ハ'ット'	106	1	95	121	0
ス'イ'ー'ブ'ハ'ット'	107	1	96	121	0

\*マルチティンバーオフ、オン1の時、バンクMSBは0

\*ドレミシャープ、ドレミフラットは、楽譜の#、b記号にあわせてお使いください。  
\*ドレミシャープ、ドレミフラットの音域は、中央のシからオクターブ半上のソまでです。  
その他の音域では、伴奏用にオーケストラ音色がです。

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		LSB		MSB	LSB
<b>●シンセSFX</b>					
レインバット*	108	1	97	121	0
サウンドトラック	109	1	98	121	0
クリスタル	110	1	99	121	0
シテレット	111	1	99	121	1
アラトネス	112	1	101	121	0
ゴブリン	113	1	102	121	0
ユース*	114	1	103	121	0
ユーベル	115	1	103	121	1
ユーパン	116	1	103	121	2
サイレスフィクション	117	1	104	121	0
<b>●エスニック</b>					
ギター1	118	1	105	121	0
ギター2	119	1	105	121	1
ハンジュー	120	1	106	121	0
シバセン	121	1	107	121	0
コト	122	1	108	121	0
タビヨカト	123	1	108	121	1
カリハ*	124	1	109	121	0
バグハグ	125	1	110	121	0
フイル	126	1	111	121	0
シャイ	127	1	112	121	0
<b>●パーカッション</b>					
ティンパベル	128	1	113	121	0
アココ*	1	2	114	121	0
スチムドラム	2	2	115	121	0
ウッドブロック	3	2	116	121	0
カスターネット	4	2	116	121	1
タコ	5	2	117	121	0
エレクトロバスタードラム	6	2	117	121	1
シンセティックドラム1	7	2	118	121	0
シンセティックドラム2	8	2	118	121	1
シールドドラム	9	2	119	121	0
リズムベースドラム	10	2	119	121	1
エレクトロニックドラム	11	2	119	121	2
リハースシナル	12	2	120	121	0
ギターフルタイム	13	2	121	121	0
ギターカティンクノイズ	14	2	121	121	1
ウッドベーススラップ	15	2	121	121	2

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		LSB		MSB	LSB
<b>●SFX</b>					
ブレスノイズ*	16	2	122	121	0
フルトキョリック	17	2	122	121	1
ナシ	18	2	123	121	0
アメ	19	2	123	121	1
かまじ	20	2	123	121	2
カセ	21	2	123	121	3
カワ	22	2	123	121	4
アワ	23	2	123	121	5
トリ1	24	2	124	121	0
バ	25	2	124	121	1
カマルビメ	26	2	124	121	2
トリ2	27	2	124	121	3
デック1	28	2	125	121	0
デック2	29	2	125	121	1
ドア1	30	2	125	121	2
ドア2	31	2	125	121	3
スチッチ	32	2	125	121	4
ウインドチャイルド	33	2	125	121	5
ハリコクター	34	2	126	121	0
カエジ	35	2	126	121	1
カスツブ	36	2	126	121	2
カバス	37	2	126	121	3
カクティ	38	2	126	121	4
サイロ	39	2	126	121	5
キヤ	40	2	126	121	6
ジエホキ	41	2	126	121	7
ウチウチ	42	2	126	121	8
ノーストノイズ*	43	2	126	121	9
バグ	44	2	127	121	0
ワイク	45	2	127	121	1
サキ	46	2	127	121	2
ハンチ	47	2	127	121	3
シン	48	2	127	121	4
アホ	49	2	127	121	5
ジエホキ	50	2	128	121	0
マン	51	2	128	121	1
レーザ	52	2	128	121	2
バク	53	2	128	121	3
<b>●ドラムセット</b>					
スタンダードセット	54	2	1	120	0
フルセット	55	2	9	120	0
バグ	56	2	17	120	0
エレクトロニックセット	57	2	25	120	0
アロ	58	2	26	120	0
ジャズ	59	2	33	120	0
ブレイ	60	2	41	120	0
オーケストラ	61	2	49	120	0
SFX	62	2	57	120	0

\*マルチティンバー オフ、オン1の時、バンクMSBは0

## ◇ CN41 リズム一覧表

No.	リズム名
1	8ビート1
2	8ビート2
3	8ビート3
4	16ビート1
5	16ビート2
6	16ビート3
7	16ビート4
8	16ビート5
9	16ビート6
10	ロックビート1
11	ロックビート2
12	ロックビート3
13	ハートロック
14	ハウィビート
15	サーフロック
16	2ndライン
17	50ウェイズ
18	ハート° 1
19	ハート° 2
20	ハート° 3
21	ハート° 4
22	ハート° 5
23	ライトライト° 1
24	ライトライト° 2
25	スムースビート
26	リムビート
27	スロージャム
28	ホップ° 1
29	ホップ° 2
30	エレトロホップ° 1
31	エレトロホップ° 2
32	ライト° ビート1
33	ライト° ビート2
34	ライト° ビート3
35	ライト° ビート4
36	スリッパ° ビート
37	ジャズ° ロック
38	ファンキービート1
39	ファンキービート2
40	ファンキービート3
41	ファンキー 1
42	ファンキー 2
43	ファンキー 3
44	ファンクシャッフル 1
45	ファンクシャッフル 2
46	バズ° ビート
47	ディスコ 1
48	ディスコ 2
49	ヒップ° ホップ° 1
50	ヒップ° ホップ° 2

No.	リズム名
51	ヒップ° ホップ° 3
52	ヒップ° ホップ° 4
53	テクノ 1
54	テクノ 2
55	テクノ 3
56	ハウィテクノ
57	8シャッフル 1
58	8シャッフル 2
59	8シャッフル 3
60	フ°キ°
61	16 シャッフル 1
62	16 シャッフル 2
63	16 シャッフル 3
64	T シャッフル
65	トリフ°レット 1
66	トリフ°レット 2
67	トリフ°レット 3
68	トリフ°レット 4
69	トリフ°レット ハ°レート° 1
70	トリフ°レット ハ°レート° 2
71	トリフ°レット ハ°レート° 3
72	モータウン 1
73	モータウン 2
74	ライト° スウィング°
75	H.H. スウィング°
76	ジャズ° ワルツ 1
77	ジャズ° ワルツ 2
78	5/4 スウィング°
79	タム スウィング°
80	ファースト 4 ビート
81	H.H. ホ°サノハ°
82	ライト° ホ°サノハ°
83	ビ°ギ°ン
84	マンホ°
85	チャチャ
86	サンバ°
87	ライトサンバ°
88	スルト° サンバ°
89	ラテングループ°
90	アフロキューバン
91	ソング°
92	ベンバ°
93	アフリカンハンバ°
94	メンケ°
95	レゲエ
96	タンゴ°
97	ハバ°ネラ
98	ワルツ
99	ラク°タイム
100	カントリー&ウエスタン

## ◇ 主な仕様

■鍵盤	88鍵／アドバンスト・ハンマー・アクションIV-E
■同時発音数	最大96音
■音色	コンサートグランド <sup>°</sup> 、スタジ <sup>°</sup> オグランド <sup>°</sup> 、メロ <sup>°</sup> グランド <sup>°</sup> 、ジ <sup>°</sup> ャズ <sup>°</sup> グランド <sup>°</sup> 、モ <sup>°</sup> ダン <sup>°</sup> ピ <sup>°</sup> アノ、ホ <sup>°</sup> キートン <sup>°</sup> ピ <sup>°</sup> アノ、ロ <sup>°</sup> ック <sup>°</sup> ピ <sup>°</sup> アノ、ニューエイ <sup>°</sup> ジ <sup>°</sup> ピ <sup>°</sup> アノ1、クラ <sup>°</sup> シッ <sup>°</sup> ク E ピ <sup>°</sup> アノ1、モ <sup>°</sup> ダン <sup>°</sup> E ピ <sup>°</sup> アノ1.60 <sup>°</sup> sエ <sup>°</sup> レ <sup>°</sup> ク <sup>°</sup> トリ <sup>°</sup> ック <sup>°</sup> ピ <sup>°</sup> アノ、モ <sup>°</sup> ダン <sup>°</sup> E ピ <sup>°</sup> アノ2ジ <sup>°</sup> ャズ <sup>°</sup> オル <sup>°</sup> ガ <sup>°</sup> ン1、ジ <sup>°</sup> ャズ <sup>°</sup> オル <sup>°</sup> ガ <sup>°</sup> ン2、ジ <sup>°</sup> ャズ <sup>°</sup> オル <sup>°</sup> ガ <sup>°</sup> ン3、ジ <sup>°</sup> ャズ <sup>°</sup> オル <sup>°</sup> ガ <sup>°</sup> ン4、 チャー <sup>°</sup> チオル <sup>°</sup> ガ <sup>°</sup> ン1、テ <sup>°</sup> ィア <sup>°</sup> ハ <sup>°</sup> ソ <sup>°</sup> ン、フル <sup>°</sup> ア <sup>°</sup> ンサン <sup>°</sup> ブル、オ <sup>°</sup> ク <sup>°</sup> ター <sup>°</sup> ピ <sup>°</sup> アノソ <sup>°</sup> ン、ハ <sup>°</sup> ーフ <sup>°</sup> シ <sup>°</sup> ョ <sup>°</sup> ード <sup>°</sup> 1、ハ <sup>°</sup> ーフ <sup>°</sup> シ <sup>°</sup> ョ <sup>°</sup> ード <sup>°</sup> 2、ピ <sup>°</sup> ラ <sup>°</sup> ホ <sup>°</sup> ン、クラ <sup>°</sup> ビ <sup>°</sup> ネ <sup>°</sup> ット、ス <sup>°</sup> ロー <sup>°</sup> スト <sup>°</sup> リン <sup>°</sup> グ <sup>°</sup> ス 、スト <sup>°</sup> リン <sup>°</sup> グ <sup>°</sup> ハ <sup>°</sup> ッ <sup>°</sup> ド、ウ <sup>°</sup> ォ <sup>°</sup> ーム <sup>°</sup> スト <sup>°</sup> リン <sup>°</sup> グ <sup>°</sup> ス、スト <sup>°</sup> リン <sup>°</sup> グ <sup>°</sup> ア <sup>°</sup> ンサン <sup>°</sup> ブル1、ク <sup>°</sup> ワイ <sup>°</sup> ア <sup>°</sup> 1、ク <sup>°</sup> ワイ <sup>°</sup> ア <sup>°</sup> 2、ニューエイ <sup>°</sup> ジ <sup>°</sup> 1、ア <sup>°</sup> ト <sup>°</sup> モ <sup>°</sup> ス <sup>°</sup> フ <sup>°</sup> ィア <sup>°</sup> 、ウ <sup>°</sup> ッ <sup>°</sup> ド <sup>°</sup> ペ <sup>°</sup> ー <sup>°</sup> ス、エ <sup>°</sup> レ <sup>°</sup> ク <sup>°</sup> トリ <sup>°</sup> ック <sup>°</sup> ペ <sup>°</sup> ー <sup>°</sup> ス、フレ <sup>°</sup> ット レス <sup>°</sup> ペ <sup>°</sup> ー <sup>°</sup> ス、ウ <sup>°</sup> ッ <sup>°</sup> ド <sup>°</sup> ペ <sup>°</sup> ー <sup>°</sup> ス&ス <sup>°</sup> ライ <sup>°</sup> ド <sup>°</sup> 、 その他OTHERS音色に273音色+9ドラムセット
■ディスプレイ	16文字×2行 液晶ディスプレイ (LCD)
■効果	リバーブ(ルーム1, 2、ステージ、ホール1, 2、プレート)、コーラス1, 2, 3, 4EBコーラス、フランジャー、ディレイ 1, 2, 3、トレモロ、ロータリー1, 2
■レッスン	練習曲: 281曲
■メトロノーム/リズム	1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8拍子, 100リズム
■レコーダー	2パート×3ソング、記憶音数 1ソングあたり30,000音
■USBレコーダー	16トラックレコーダー、パートミュート、繰り返し再生、USBメモリー、USBフロッピーディスクドライブ接続可、 SMFフォーマット
■デモ曲	全30曲
■コンサートマジック	全88曲
■トランスポーズ	-12~+12半音
■その他の機能	デュアル、スプリット、バランススライダー、タッチカーブセレクト(6種類)、プリリアンス、ローア <sup>°</sup> オク <sup>°</sup> ター <sup>°</sup> ブ シフト、ローア <sup>°</sup> ペ <sup>°</sup> ダル、レイ <sup>°</sup> ヤー <sup>°</sup> オク <sup>°</sup> ター <sup>°</sup> ブシフト、レイ <sup>°</sup> ヤー <sup>°</sup> ダイ <sup>°</sup> ナ <sup>°</sup> ミクス、ダン <sup>°</sup> パー <sup>°</sup> ホ <sup>°</sup> ール <sup>°</sup> ド、チュー <sup>°</sup> ニング、 音律、MIDI機能設定、ユーザーメモリー、ファクトリーリセット
■ペダル	ダンパー(ハーフ対応)、ソフト、ソステヌート
■キーカバー	スライド式
■外部端子	ヘッドホン(2)、MIDI(IN, OUT, THRU)、LINE OUT (L/MONO、R)、LINE IN(L/MONO、R)、USB to Host、USB to Device×2
■出力	40W×2
■スピーカ	16cm×2
■定格電圧	AC100V、50/60Hz
■消費電力	60W
■寸法	[W×D×H] 138.9×48.0×88.6(cm)(セットアップ時、譜面台なしの場合)
■重量	54kg
■同梱品	本体/スタンド/譜面台/椅子/電源コード/取扱説明書(本書)/ヘッドホン/ヘッドホンフック/ スタンド組立図/保証書/ご愛用者カード/アフターサービスと音楽教室のご案内/楽譜集のご案内/ 「コンサートマジック曲集」注文払込用紙

\* 動作確認済みのUSBメモリー、USBフロッピーディスクドライブは弊社ホームページ <http://www.kawai.co.jp/> を参照してください。  
\*\* 本体の仕様及び同梱品の内容等につきましては予告なく変更させていただく場合がございます。

## ◇ KAWAI [Model CN41] MIDI インプリメンテーションチャート

ファンクション		送信 *1	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1~16	1~16 1~16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 モード3,4	
ノート ナンバー	音域	21 - 108 ** *****	0 - 127 0 - 127	** 9-120 トランスポーズを 含む。
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH v=1-127 × 9nH v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○	
ピッチ・バンド		×	○	
コントロール チェンジ	0,32	○	○	バンクセレクト
	1	×	○	モジュレーション
	5	×	○	ポルタメントタイム
	6,38	×	○	データエントリー
	7	○	○	ボリューム
	10	×	○	パンポット
	11	×	○	エキスパレクション
	64	○ (右ペダル)	○	ダンパーペダル
	65	×	○	ポルタメント
	66	○ (中ペダル)	○	ソステヌートペダル
	67	○ (左ペダル)	○	ソフトペダル
	69	○	○	ホールド2
	70	×	○	サスティンレベル
	71	×	○	レゾナンス
	72	×	○	リリースタイム
	73	×	○	アタックタイム
	74	×	○	カットオフ
	75	×	○	ディケイタイム
	76	×	○	ビブラートスピード
77	×	○	ビブラートデプス	
78	×	○	ビブラートディレイ	
84	×	○	ポルタメントコントロール	
91	○	○	リバーブセンドレベル	
93	○	○	コーラスセンドレベル	
98,99	×	○	NRPN LSB,MSB	
100,101	×	○	RPN LSB,MSB	
プログラムチェンジ 設定可能範囲	○ (0 - 127) *****	○		
エクスクルーシブ	○	○		
コモン	ソングポジション	×	×	
	ソングセレクト	×	×	
	チューン	×	×	
リアル タイム	クロック コマンド	○ ○ FA,FB,FC	○ ○	
その他	オールサウンドオフ	×	○(120)	
	リセットオールコントローラー	×	○(121)	
	ローカルON/OFF	×	×	
	オールノートオフ	×	○(123~127)	
	アクティブセンシング リセット	○ ×	○ ×	
備考	*1 レコーダー機能ではこの内容は準じません			

モード1：オムニオン、ポリ  
モード3：オムニオフ、ポリ

モード2：オムニオン、モノ  
モード4：オムニオフ、モノ

○：有り  
×：無し





# KAWAI

株式会社 河合楽器製作所

電子楽器事業部

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地

TEL.053-457-1277 / FAX053-457-1279

<http://www.kawai.co.jp/>

## 【お問い合わせ先について】

◆ご不明な点がございましたら、下記お客様相談室をご利用ください。

[お客様相談室]

Tel : 053-457-1311 E-mail : [customer@kawai.co.jp](mailto:customer@kawai.co.jp)

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜日、祝日及び弊社規定の休日を除きます)

[お客様サポート・お問い合わせフォーム]

<http://www.kawai.co.jp/> の「お客様サポート」よりお進みください。

◆故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。

※詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。